

令和7年度 第2回山形市立図書館協議会

日時 令和8年2月12日(木)午後2時

場所 山形市立図書館2階集会室

次 第

1 開会

2 教育長あいさつ

3 委員長あいさつ

4 報告

① 令和7年度図書館事業について(中間報告)資料1・別紙 (P1)

② 令和7年度利用者アンケートの概要について資料2 (P21)

③ 電子書籍サービスについて資料3 (P37)

④ 絵本とあそぼう@中央分館について資料4 (P40)

5 協議

令和8年度図書館事業(案)について 資料5・別紙 (P41)

6 その他

7 閉会

山形市立図書館協議会 委員名簿

任期 令和7年6月1日から令和9年5月31日まで

	氏名	役職等	備考
1	伊藤 弘昭	東北文教大学人間科学部 人間関係学科 准教授	委員長
2	井上 幸弘	山形市立図書館ボランティア 「小荷駄のみどりから…」運営委員長	副委員長
3	高梨 明恵	山形市小学校長会 山形大学附属幼稚園長	
4	前田 洋光	山形市中学校長会 山形市立第四中学校長	
5	小鹿 泰子	認定特定非営利活動法人やまがた育児サークルランド ベにっこひろば子育て支援センター施設長	
6	沖津 卓也	山形商工会議所青年部 日本一の芋煮特別委員会副部長	
7	後藤 絵美	山形県立図書館長	
8	渡邊 さおり	山形市PTA連合会 母親委員長	
9	五十嵐 勇大	山形県書店商業組合 専務理事	
10	佐々木 僚	一般社団法人山形市私立幼稚園・認定こども園協会 理事	
11	佐藤 紀之	元山形市立中学校長	
12	井上 瑤子	編集者、ライター	

令和7年度 山形市立図書館事業について(中間報告)

【基本的方向性】

「山形市教育大綱」及び「山形市教育振興基本計画」に基づき、「生涯学び、人と地域とかがわり、よりよい社会を築く人づくり」を目指します。

また、山形市立図書館基本方針に基づき、生活の充実、地域課題や生活課題への市民の主体的学習を支援するため、多様な資料・情報の充実に努め、身近な情報拠点、地域文化の創造の場としての図書館、さらに市民とともにさまざまな企画や図書館運営を図ることにより、市民のニーズを反映し、市民に身近で親しまれる図書館を目指します。

1 山形市教育振興基本計画における施策の展開

施策の方向 2	生涯学習の推進
基本施策 5	生涯学び、人と地域とかがわり、よりよい社会を築く人づくり
施策 5-2	市民の主体的学習を支援する図書館運営

2 具体的な施策と取組

※実績は全て令和7年12月末時点での数値

施策の方向 2	生涯学習の推進
基本施策 5	生涯学び、人と地域とかがわり、よりよい社会を築く人づくり
施策 5-2	市民の主体的学習を支援する図書館運営 図書館に求められる役割が、従来までの「借りる・読む・調べる」にとどまらず、利用者や地域の「課題解決に役立つ情報拠点」へと変化してきていることから、市民の主体的学習を支援するための、多様な資料・情報の充実に努めるとともに教養を高めるための多様な講座を開催する。 また、R2.4月からR5.5月までの3年間続いたコロナ禍も明けたことにより、減少傾向であった利用者数及び貸出冊数の回復増に向けた、魅力ある図書館の整備・運営を図っていく。

■取組1 市民の立場に立った図書館サービスの充実



取組の目的・概要(運営方針)	取組の実施状況(実績)
<p>(1) 乳幼児向け資料の充実と子育て支援資料の提供(G4)</p> <p>① 乳幼児・児童向け資料(絵本、物語等)の収集に努め、資料の充実に努める。</p> <p>② 子育てに役立つ絵本紹介パンフレット「絵本と遊ぼう」の作成・提供を行う。</p> <p>(2) 中高生向け資料の充実(G4 G5)</p> <p>中高生向け資料の収集に努め、ヤングコーナーの充実に図る。また、資格取得や起業を含めた中高生の進路選択に役立つ資料の収集を行う。</p> <p>(3) 高齢者・障がい者向け資料の収集と館内環境の整備(G3 G4 G10)</p> <p>① 「読書バリアフリー法」(R1.6.28 施行)の目的に沿って、高齢者や障がい者が利用しやすい大活字資料や録音図書資料を収集し、手に取りやすい本の配置と環境の整備に努める。</p> <p>② 高齢者、障がい者、その家族の関心の高い趣味や医療・介護・福祉等の資料の収集に努める。</p>	<p>(1) 乳幼児向け資料の充実と子育て支援資料の提供</p> <p>① 乳幼児・児童向け資料(図書・紙芝居等)の資料の収集を行い、児童書コーナーの充実に図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 児童図書所蔵数 95,774冊 (受入2,352冊) • 紙芝居所蔵数 3,331冊 (受入37冊) <p>② 「絵本とあそぼう」を作成し、1歳6ヶ月検診時に配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 発行 1,500部 <p>(2) 中高生向け資料の充実</p> <p>中高生向け資料の収集を行い、児童書コーナー、ヤングコーナーの充実に図った。また、中高生の進路選択に役立つ資料の収集を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 青少年向図書所蔵数 4,100冊 (受入139冊) <p>(3) 高齢者・障がい者向け資料の収集と館内環境の整備</p> <p>① 高齢者が利用しやすい大活字資料の収集を行った。高齢者が分かりやすく手に取りやすい本の配置と環境の整備を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 大活字図書所蔵数 2,355冊 (受入35冊) <p>② 高齢者や周りの家族にとって関心の高い趣味や医療・介護・福祉等の資料の収集を行った。</p> <p>長寿支援課と連携し、地域支え合いボランティア活動団体の紹介及び作品の展示を行い、関連本を紹介した。</p>

<p>(4) 来館困難者への資料提供(G3 G4 G10) 団体貸出を通して、老人福祉施設や障がい者福祉施設に入所されている方への資料提供を行う。</p> <p>(5) 貸出カード登録率向上に向けた取組 (G4) 積極的な広報や周知、事業の開催、施設訪問など様々な取組を通して貸出カード登録率向上に努める。</p> <p>(6) 多言語資料の収集と案内掲示(G4 G5) ① 外国人とのコミュニケーション等に役立つ英語や諸外国語の会話集等の資料の収集を行う。 ② 外国人が利用しやすいような多言語表記による館内の案内板や表示板などの充実を図る。</p> <p>(7) 清潔な館内環境の整備(G3 G4 G11) 館内換気の徹底、手指消毒液の設置、図書消毒器・予約本受取ボックスの周知を継続する。</p>	<p>(4) 来館困難者への資料提供 団体貸出を通して福祉施設や放課後児童クラブ等へ資料を貸出した。 • 提供状況 81 団体 18,838 冊</p> <p>(5) 貸出カード登録率向上に向けた取組 市有施設や市内小学校における出前・交流図書館を実施し、貸出カードの登録を行った。 電子書籍サービスを実施し、新たな層への貸出カード登録を促した。</p> <p>(6) 多言語資料の収集と案内掲示 ① 外国人とのコミュニケーション等に役立つ英語や諸外国語の資料収集、提供を行った。 • 多言語資料所蔵数 583冊 (受入6冊) • 外国語絵本所蔵数 525冊 (受入1冊) ② 外国人が利用しやすいよう、多言語表記による案内表示の充実を図った。</p> <p>(7) 清潔な館内環境の整備 新型コロナウイルス感染症の5類引き下げに伴い返却資料の消毒は終了したが、その他の取り組みは継続して実施した。</p>																		
<p>評価</p>	<p>成果</p> <p>□ 令和2年12月に本館に設置した予約本受取ボックスは、休館時や閉館後でも受け取れる利便性が周知され、34個あるボックスがほぼ毎日利用されている。</p> <p>○予約本受取ボックス申込み数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和6年度</th> <th>R7.12月末現在</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申込み人数</td> <td>4,898人</td> <td>4,251人</td> </tr> <tr> <td>申込み冊数</td> <td>7,533冊</td> <td>7,055冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>課題改善案</p> <p>■ 貸出者数、貸出冊数が伸び悩んでいる。今後も、児童・青少年向けや高齢者、一般向け資料の収集を行い蔵書の充実を図っていく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和7年度目標値</th> <th>R7.12月末現在</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出者数</td> <td>172,500人</td> <td>137,415人</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>833,500冊</td> <td>588,509冊</td> </tr> </tbody> </table>		令和6年度	R7.12月末現在	申込み人数	4,898人	4,251人	申込み冊数	7,533冊	7,055冊		令和7年度目標値	R7.12月末現在	貸出者数	172,500人	137,415人	貸出冊数	833,500冊	588,509冊
	令和6年度	R7.12月末現在																	
申込み人数	4,898人	4,251人																	
申込み冊数	7,533冊	7,055冊																	
	令和7年度目標値	R7.12月末現在																	
貸出者数	172,500人	137,415人																	
貸出冊数	833,500冊	588,509冊																	

■取組2 ICTを活用した情報提供の推進



取組の目的・概要(運営方針)	取組の実施状況(実績)												
<p>(1) インターネット予約サービスの利便性向上(G4) インターネットによる図書館資料予約サービス等の普及を促進するとともに、より利便性の高いシステムとなるよう運用の充実を図る。</p> <p>(2) メール・レファレンスサービスの普及(G4) 電子メールによるレファレンスサービスの利用拡大に努める。</p> <p>(3) オンラインデータベースを活用した情報提供(G4) 法令情報や官報情報などのオンラインデータベースを活用した情報提供の周知に努め、利用拡大を図る。</p> <p>(4) 時代に対応した新しい図書館情報システムの利用促進(G4) 令和6年度のシステム更新に伴う新たな機能追加により、利便性が向上したが、更に活用促進を図るため、引き続き、周知・案内を強化する。 ・利便性が向上した機能 ① スマートフォン等での貸出しバーコードの表示により、カードを持参しなくても利用が可能となった。 ② 利用者がインターネット上で、自分の読書履歴を確認することが可能となった。 ③ LINEとの連携により、資料の検索や予約</p>	<p>(1) インターネット予約サービスの利便性向上 インターネット及び館内 OPAC の他に、新システムの導入により LINE 連携による予約サービスを開始した。 各種図書館資料予約サービスの普及を促進するとともに、より利便性の高いシステムの運用を図った。 <ul style="list-style-type: none"> 利用状況 83.8% (令和7年度目標値 79.5%) </p> <p>(2) メール・レファレンスサービスの普及 電子メールによるレファレンスサービスを行った。 <ul style="list-style-type: none"> 利用状況 5件 </p> <p>(3) オンラインデータベースを活用した情報提供(G4) 法令情報・官報などのオンラインデータベースを活用した情報提供を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 利用状況 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>法令情報</td> <td>1 件</td> <td>0 枚コピー</td> </tr> <tr> <td>山形新聞</td> <td>4 件</td> <td>130 枚コピー</td> </tr> <tr> <td>官報情報</td> <td>5 件</td> <td>0 枚コピー</td> </tr> <tr> <td>国会図書館</td> <td>5 件</td> <td>2 枚コピー</td> </tr> </table> </p> <p>(4) 時代に対応した新しい図書館情報システムの導入 利用者の要望を踏まえた、新たなシステムの運用を令和6年6月行ったことにより、利用者サービスの向上や、職員の事務軽減に繋がった。</p>	法令情報	1 件	0 枚コピー	山形新聞	4 件	130 枚コピー	官報情報	5 件	0 枚コピー	国会図書館	5 件	2 枚コピー
法令情報	1 件	0 枚コピー											
山形新聞	4 件	130 枚コピー											
官報情報	5 件	0 枚コピー											
国会図書館	5 件	2 枚コピー											

<p>が可能となったことに加え、予約本の準備など、図書館からの連絡も容易となった。</p> <p>(5) 電子書籍サービスの導入検討 (G4) 電子書籍サービス導入に向けた検討を行い、合わせて広域による導入についても検討する。</p>		<p>(5) 電子書籍サービスの導入及び供用開始 令和7年12月3日から電子書籍サービスの運用を開始した。小中学校からのアンケートに基づくコンテンツの導入及び各学校へのID・パスワードの配布を行い、児童・生徒の読書活動や調べ学習を支援する取組を行った。</p>
評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> □ インターネット予約について、窓口にて随時、利用者へ案内を行っており、予約全体に対する利用率については、年々増加している。今後も、利用方法等について広報周知を図り、更なる利用者の増加に繋げていきたい。 □ 電子書籍サービスを12月から供用を開始し、開館時間に関係なく、無料で気軽に読書を楽しむことができる環境を整備した。今後も利用できる書籍を順次追加し、誰もが利用しやすく、魅力的な電子書籍サービスの提供していきたい。
	課題改善案	<ul style="list-style-type: none"> ■ オンラインデータベースを活用した情報提供について、引続き利用拡大に向けた周知・広報の充実に努める。

■取組3 資料の収集・整備・保存とその提供の充実



取組の目的・概要(運営方針)	取組の実施状況(実績)
<p>(1) 蔵書管理と収蔵スペースの有効活用(G4)</p> <p>① 提供できる資料について、市民ニーズや資料収集方針に基づき、適切な質・量の確保に努めるとともに、限られた収蔵スペースの有効活用を図る。</p> <p>② 保育園、幼稚園などの施設や各種団体、一般利用者に除籍資料を提供しリサイクルに努める。</p> <p>(2) 郷土資料の充実(G4 G11)</p> <p>① 郷土に関する資料等の発行情報の把握に努め、図書、雑誌、パンフレット、チラシ、音声・映像等を幅広く収集し提供する。</p> <p>② 前年中に出版された郷土関係の書籍について、「市民の出版物展」として2月下旬～3月中旬にかけて展示する。</p> <p>(3) 地域課題解決の取組支援(G4 G11)</p> <p>① 山形市、山形県で発行している行政資料や地図等を収集し提供する。</p> <p>② 起業、資格取得や就労等を支援していくための資料を収集し提供する。</p> <p>③ 子育て、教育、医療、健康、福祉、まちづくり等の市民生活や地域を豊かにするための資料を収集し提供する。</p> <p>(4) レファレンスサービスの向上と充実(G4)</p> <p>① レファレンスニーズに対応できる資料の整備や研修等による専門能力の向上を図り、サービスの向上と充実を図る。</p>	<p>(1) 蔵書管理と収蔵スペースの有効活用</p> <p>① 市民ニーズや資料収集方針に基づき、適切な質・量の確保を図るとともに、限られた収蔵スペースの有効活用を図った。</p> <p>② 保育園、幼稚園等の施設や各種団体には、予約制で提供した。(71 団体利用) 一般利用者には、館内にリサイクルコーナーを設け、1ヶ月間提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 提供資料数 11,811冊 <p>(2) 郷土資料の充実</p> <p>① 郷土図書・雑誌・パンフレット・チラシ、映像資料や地図等を収集し提供した。</p> <p>② 2025市民の出版物展 R8.2.14～3.22開催予定</p> <p>(3) 地域課題解決の取組支援</p> <p>① 山形市、山形県で発行している行政資料や地図等を収集し提供した。</p> <p>② 起業、資格取得や就労等を支援していくための資料として、各地の商工月報を収集し提供した。</p> <p>③ 子育て、教育、医療、健康、福祉、まちづくり等の市民生活や地域を豊かにするための資料として、各分野で発行している刊行物等を収集し提供した。</p> <p>(4) レファレンスサービスの向上と充実</p> <p>① レファレンスニーズに対応できる資料の整備や、研修等による専門能力の向上を図り、サービスの向上と充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 対応件数 177件 ● 照会事項の例

<p>② 国立国会図書館レファレンス協同データベース、国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービス及び法令情報や官報情報などのオンラインデータベースを活用し、レファレンスサービスの充実に努める。</p> <p>③ レフェラルサービス(※)の蓄積した情報を整理し、将来のサービスに活用する。 (※)利用者が求めている情報に関して、その情報源となる人又は機関、組織を知らせるサービス</p> <p>(5) 視聴覚資料の提供(G4 G11) 児童・青少年健全育成、地域福祉をはじめ、社会教育に役立つ視聴覚資料を、地域で活動する社会教育団体等へ提供する。</p>	<p>「山形歩兵第32連隊(霞城連隊)」について知りたい</p> <p>② 国立国会図書館レファレンス協同データベース、国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービス並びに法令情報や官報情報などのオンラインデータベースを活用し、レファレンスサービスの充実に努めた。</p> <p>③ 求められる情報に関して、その情報源となる人若しくは機関、組織を知らせるレフェラルサービスの提供に際し、必要な情報源の整理を行った。</p> <p>(5) 視聴覚資料の提供 ① 児童・青少年健全育成、地域福祉をはじめ、社会教育に役立つ交通安全啓発DVDなどの視聴覚資料について、カモシカクラブ、保育園、コミセン、公民館に貸出した。 ● 利用状況 8件 32本</p>
<p>評価</p>	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 市民ニーズに応える資料収集を行ったほか、除籍資料のリサイクルに努めた。団体向けとして、保育園、幼稚園などの施設を対象に2日間にわたり予約制で資料の提供を行うとともに、一般利用者向けとして、本館と各分館に専用のスペースを設けて資料の提供を行った結果、リサイクル率は約99%を達成した。 □ レファレンスサービスでは、専門性の向上と各種データベースの活用により、利用者の多様な調査・相談ニーズに対応することができた。 <p>課題改善案</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 蔵書スペースが限られており、所蔵資料の整理などによる所蔵スペースの確保が課題となっており、メリハリをつけた選書を行う。 ■ 郷土資料や行政資料については、未整理資料の整理・保存やデジタル化を進め、長期的な利活用につなげることが求められる。

■取組4 多様な学習の機会や活動・発表の場の提供



取組の目的・概要(運営方針)	取組の実施状況(実績)
<p>(1) 講座・講演会の開催(G4 G11) 郷土の歴史や身近な市民のニーズに応える各種講座や、読書週間にあわせた講演会、郷土出身の作家等を招いた講演会を企画、開催する。</p> <p>(2) 「課題解決に役立つ」実践的なワークショップの開催(G4 G11) 利用者や地域の課題解決に役立つ実践的ワークショップを開催する。</p> <p>(3) 幼児・児童向け事業の充実(G4 G17) 「絵本とあそぼう」、「おはなしの広場」などのおはなし会のほか、紙芝居、人形劇、などの多様なイベントにより、幼児・児童が物語等に親しむ機会を提供し、読書活動の推進を図る。 事業実施においては、図書館ボランティアの協力を得ながら、参加しやすい雰囲気づくりに努める。</p> <p>(4) 展示会のタイムリーな開催(G4 G11)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 読書への関心を高めるため、読書週間等にあわせて資料を展示する。 ② 山形市平和都市宣言事業として戦争と平和に関する資料を展示する。 ③ 開催する講座・講演会のテーマに沿った資料を展示する。 	<p>(1) 講座・講演会の開催 郷土の学識経験者等を講師に招き、講演会等を催した。(別紙参照)</p> <p>(2) 「課題解決に役立つ」実践的なワークショップの開催</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 若者の短歌ブームを契機に「ツイート(つぶやき)短歌講座」を実施した。学生から高齢者までが参加し、相手を否定・批判しないで、違いを受け入れる思考方法を異世代同士で交流しながら体験的に学んだ。 ② 芸工大生の企画運営により、ポストカード作りのワークショップを開催し、活動の場を提供した。 <p>(3) 幼児・児童向け事業の充実 「絵本とあそぼう」、「おはなしの広場」などのおはなし会や、人形劇の上演など多様なイベントをボランティアの協力を得て開催した。</p> <p>(4) 展示会のタイムリーな開催</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 玄関展示コーナーや館内特集コーナー等を活用し、読書週間、自殺予防月間等、時節にあわせた特集・展示、また季節感のある本の特集、図書館ボランティアの紹介等を行った。 ② 山形市平和都市宣言事業として、戦争や平和への取組に関する郷土資料等の展示のほか、平和へのメッセージコーナーや折

<p>(5) 事業実施における図書館ボランティアとの協働(G4 G17)</p> <p>上記の各種講座・講演会や事業、展示会等の企画・運営は、図書館ボランティアと協働で行う。</p>		<p>り鶴コーナー等を設置した。</p> <p>③ 開催した講座・講演会のテーマに沿った資料を展示した。</p> <p>その他、山形中央高の生徒が作成した「心に残ったワタシの一行」の作品を実際の本とともに展示した。</p> <p>(5) 事業実施における図書館ボランティアとの協働</p> <p>各種事業の企画・運営に際しては、図書館ボランティアと協働で行った。</p>
<p>評価</p>	<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 市民講座やワークショップ等を通じて、多様な学習機会と活動・発表の場等の学びの場を提供し、市民の主体的な学習を支援することができた。 □ ボランティアの協力を得て郷土有識者や作家を講師とする講座・講演会、読み聞かせ等の事業を開催した。
	<p>課題 改善案</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 参加者層のさらなる拡大、学びの継続性、事業効果の可視化が今後の課題である。 ■ 利用者アンケートや参加者アンケート等を参考にしながら催しを開催していきたい。

■取組5 学校図書館等との連携と教育活動への支援



取組の目的・概要(運営方針)	取組の実施状況(実績)
<p>(1) 学校図書館の運営支援(G4 G17)</p> <p>① 学校図書館の運営を支援するため、図書整理員研修会を開催する。</p> <p>② 学校を訪問し、学校図書館の運営の工夫や課題について、学校からの相談に基づき情報交換や助言等の支援をする。</p> <p>(2) 探究型学習の支援の充実等(G4 G17)</p> <p>① 児童生徒の探究型学習支援のため、学校からの依頼に基づき教科等のテーマに応じた資料を選定し、団体貸出しにより提供する。</p>	<p>(1) 学校図書館の運営支援</p> <p>① 「学校図書整理員研修会」を令和7年8月開催した。 講師 大場恵子氏(元小学校長) 内容 「学校図書館環境づくり～本は身近で楽しむのも～」</p> <p>② 学校との情報交換及び支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館への訪問や、団体貸出しのため図書館に来館する教諭と意見交換を行った。 ・ 小・中学校からの協力を得て、館内に「学校のおすすめ本」の特集を組むことにより、児童・生徒の本や図書館への関心を高めることに繋げた。 ・ 「本の福袋」事業への参加を呼びかけ、小中・高等学校の図書委員等の児童・生徒の協力を得て実施した。 小学校3校 中学校2校 高等学校4校 ・ 小・中学校に出向き、市立図書館利用の説明や、所蔵している本の貸出しを行う出前図書館、及び、児童が来館し、館内の見学と貸出し等を体験的に学習する交流図書館を実施した。 <p>(2) 探究型学習支援の充実等</p> <p>① 団体貸出 24校2,398冊 ※12月末日現在 (R6年度計 26校 1,291冊)</p> <p>※「団体貸出100(イチマルマル)」を令和7年度から実施し、団体貸出を利用する学校のうち、遠距離の学校には、本を届ける仕組みを整備した。 また、返却については、距離に関係なくすべての学校が返却ポストを利用して24時間返却することが可能な体制を整えた。</p>

<p>② 夏休み自由研究相談会、読書感想文書き方講座を開催するほか、自由研究のテーマ選定や研究の進め方などに役立つ図書を展示するなど、児童・生徒の探究型学習を支援する。</p> <p>③ 学校との共催による学校訪問おはなし会を、図書館ボランティアの協力を得て実施する。</p> <p>(3) 職場体験学習等の受け入れ(G4 G17)</p> <p>① 中学校2年生の職場体験学習をはじめ、児童生徒の職場体験や就業体験を受け入れる。</p> <p>② 小学校のまち探検や社会科見学、中学校の社会科学習等の図書館見学受け入れをとおし、図書館の理解と児童・生徒の利用促進を図る。</p> <p>(4) 「りぶ活 yamagata」の実施</p> <p>部活動の地域移行・地域連携を支援する事業として、図書館「Library」を活用し、交流を通じて楽しみながら学び、探究心を満たす学びを体験できるような内容で実施する。</p>	<p>② 自由研究相談会や児童・生徒読書感想文講座を行った。</p> <p>自由研究相談会 4人 児童・生徒読書感想文講座2人 (当日欠席2名)</p> <p>③ 学校訪問おはなし会</p> <p>山形四小 1回 117人 山形五小 2回 205人 西山形小 2回 112人 村木沢小 1回 46人</p> <p>【その他の教育活動への支援】</p> <p>① 高等学校の探究型学習や大学の授業への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・惺山高等学校に対して探究学習活動への協力を行った。(ガチャによる本の貸出し協力) ・東北文教大学の授業への協力。(取材活動) <p>② 授業等での電子書籍の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット(一人一台)へのIDの交付 ・総合的な学習など調べ学習での利用 ・国語科や朝読書等での読書活動 <p>(3) 職場体験学習等の受け入れ</p> <p>① 山形六中の特別支援学級、県立山形聾学校(中学部)の生徒を職場体験や就業体験として受け入れた。施設見学やカウンター業務、雑誌のブッカーかけを行った。</p> <p>② 県立山形聾学校(小学部)の児童が来館し、施設見学と本の貸出体験を行った。</p> <p>(4)「りぶ活yamagata」の実施</p> <p>部活動の地域移行・地域連携事業を支援する事業として、週末に同じ興味を持つ仲間と共に図書館「Library」を活用し、交流を通じて楽しみながら活動し、探究心を満たす学びを体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者 市内の中学校 1.2年生 4人 ・活動時期 R7.7.12～11.8 全8回(土曜日の午前中) ・活動場所 図書館本館 ・指導者 図書館職員(元教員)
---	---

<p>(5) 「としょかんKids」の発行と学校との協力(G4 G17)</p> <p>児童生徒の図書館利用を促進するため、本の新聞「としょかんKids」を発行し、学校の協力のもと児童・保護者からのお気に入りの本や季節毎のテーマによる児童書の紹介を掲載する。</p> <p>(6) 幼稚園・保育所等への資料提供と読み聞かせの実施(G4 G17)</p> <p>① 幼稚園・保育所等へ団体貸出により資料を提供する。(放課後児童クラブを含む)</p> <p>② 園児に図書館利用の楽しさを感じてもらえるよう、図書館見学などを受け入れる。</p> <p>③ 読み聞かせの依頼を受け、図書館ボランティアの協力を得ながら、訪問し開催する。</p>	<p>(5) 「としょかん Kids」発行部数 500 部/号</p> <p>図書館協議会委員の提言を受け、寄稿した児童のクラスには全員分を配布した。</p> <p>(6) 幼稚園・保育所等への資料提供と読み聞かせの実施</p> <p>① 幼稚園・保育所等へ団体貸出しにより、絵本等資料を提供した。</p> <p>② 園児等に、小さいころから図書館利用の楽しさを感じてもらえるよう、図書館見学を受け入れた。</p> <p>③ 図書館ボランティアが幼稚園・保育所等に訪問し、読み聞かせを開催した。</p>
<p>評価</p>	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 学校図書整理員研修会や学校訪問、出前・交流図書館の実施により、学校図書館運営や教職員との連携を深めることができた。 □ 「団体貸出 100」の導入や小中学校への働きかけにより、団体貸出冊数が前年度より大幅に増加し、授業や朝読書の教材提供等、教職員をサポートすることができた。 □ 図書館での学校おすすめ本特集や本の福袋事業、電子書籍の導入により、児童・生徒の読書意欲の向上や図書館への関心を高めることに繋げることができた。 <p>課題改善案</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 事業内容や支援メニューが多岐にわたる一方で、学校側への周知や活用方法が十分に浸透していない面がある。 ■ 自由研究相談会や講座、りび活 yamagata 等、一部事業の参加者数が少ない状況である。学校や保護者への周知方法、実施時期や方法の見直しにより、参加しやすい事業設計を行う。

■取組6 広報・広聴及び情報発信の充実



取組の目的・概要(運営方針)	取組の実施状況(実績)
<p>(1) 図書館だよりの発行(G4 G17)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「図書館だより ベにばな」を発行し、利用案内、催し物の開催、図書館ボランティアの活動状況等の情報提供を行う。 ② 本の新聞「としょかんKids」を発行し、紹介本を通して児童・生徒の図書館利用を促進する。 <p>(2) 広報やまがた・市ホームページを通じた情報提供(G4 G11)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「広報やまがた」を活用し、催し物の開催や図書館利用に関する情報提供を行う。 ② 市ホームページやフェイスブックを活用し、利用案内や催し物開催等の情報提供を行う。 ③ 図書館ホームページで、蔵書案内、新着資料案内、催し物開催等の情報提供を行う。 <p>(3) 本のひろば・出張貸出による図書館PR (G4 G11)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 山形駅東西自由通路に開設した「本のひろば」を活用し、高校生はじめ若者層に本に親しむ機会を提供するとともに図書館のPRと利用の拡大を図る。 ② 市有施設等における出張貸出を行い、図書館のPRと利用の拡大を図る。 	<p>(1) 図書館だよりの発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「図書館だより ベにばな」を発行し、利用案内、催し物の開催、図書館ボランティアの活動状況等の情報提供を行った。 ② 本の新聞「としょかんKids」を発行し、児童書の紹介を通して児童・生徒の図書館利用の促進を図った。寄稿した児童のクラスには全員分を配布した。 <p>(2) 広報やまがた・市公式ホームページ等を通じた情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「広報やまがた」を活用し、催し物の開催や図書館利用に関する情報提供を行った。 ② 市ホームページやフェイスブックを活用し、利用案内や催し物開催等の情報提供を行った。 ③ 図書館ホームページで蔵書案内、新着資料案内、催し物開催等の情報提供を行った。 <p>(3) 本のひろば・出張貸出(出前図書館)による図書館のPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 山形駅東西自由通路の本のひろばでは、自由に借りることができる本 100 冊程度を配置し、高校生はじめ駅周辺施設利用者に本に親しむ機会を提供した。 また、月替わりで著名人や文化人等のお薦めの本を展示し、本と図書館への興味を誘導するよう努めた。 本のひろば@市役所では、郷土資料や山形ゆかりの作品を中心とした本を約60冊を配置し、来庁した転入者や市民、事業者などに身近に本に触れる機会を提供した。 ② 山形市総合スポーツセンターで開催されたやまがたウィンターデーシェアスマイルにおいて、出前図書館を実施し、本に親し

<p>(4) 利用者アンケートの実施(G4 G11 G17)</p> <p>利用者アンケートを実施し、利用者の属性や図書館利用に関する意向・要望等の把握に努め、その結果を図書館運営に活かす。</p>		<p>む機会の提供と図書館のPRを行った。</p> <p>(4) 利用者アンケートの実施</p> <p>利用者アンケートや投書箱を通した利用者の意向把握に努めるとともに、その結果を図書館運営に活かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 期間 R7.12.17(水)～28(日) • 回答数 697 件 <p>(ネット経由回答数 239 件)</p>
<p>評価</p>	<p>成果</p>	<p>□ 各季節ごとに図書館だよりを発行したほか、市ホームページのバナーへの掲載、LINE、旧大沼前のほっとなるビジョンやバス停デジタルサイネージ並びに図書館ホームページなど様々な媒体を活用し、情報提供を行った。</p>
	<p>課題改善案</p>	<p>■ 利用者アンケート等を通し利用者の意向を把握しており、今後とも多様化が進むニーズに対応していく必要がある。</p>

■取組7 市民参加による図書館運営



取組の目的・概要(運営方針)		取組の実施状況(実績)
<p>(1) 図書館ボランティアとの協働(G4 G17) 図書の整理・修理、読み聞かせ、独自事業の企画などを行う図書館ボランティアと協働し、図書館運営の充実を図るとともに、展示会や講座等開催など活動の場を提供する。また、若手を含むメンバーの育成についても支援する。</p> <p>(2) 職場体験の受入(G4 G10 G17) インターンシップや若者支援NPO、青少年及び一般成人の保護組織が実施する、職業体験、就労研修等を受け入れる。</p> <p>(3) 図書館協議会での意見や要望等の図書館運営への反映(G4 G16 G17) 図書館協議会における図書館に対する意見や要望等を、図書館運営へ反映させる。</p>		<p>(1) 図書館ボランティアとの協働 図書の整理・修理、読み聞かせ、講座・講演会を協働し、図書館運営の充実を図った。 また、市民講座を下記のとおり開催し、家族連れをはじめとする多くの市民が来場した。 【市民講座①】 開始時期：R7.9月 テーマ：Jリーグが「山形の人、になるまで」 講師：越智隼人氏(サッカー解説者) 【市民講座②】 開催時期：R7.11月 テーマ：よくわかる浮世絵入門 講師：梅澤美穂氏(広重美術館副館長)</p> <p>(2) 職場体験の受入 山形六中の特別支援学級、芸工大生、山形県地域若者サポートステーション勤労体験を受け入れた。</p> <p>(3) 図書館協議会での意見や要望等の図書館運営への反映</p> <ul style="list-style-type: none"> 授乳室の設置 「インターネット予約を活用した団体貸出申し込み」(子どもたち自身がGIGAスクールタブレットで検索した本を予約本として確保し、貸し出せるようにする仕組み)の試験運用 「りぶ活」の活動回数の増加 雑誌スポンサー制度の設計・構築
評価	成果	<p>□ 図書館ボランティア団体「小荷駄のみどりから・・・」からの協力を得て、「市民講座」、「おはなしのひろば」等の事業を行ったほか、玄関展示で活動紹介を行った。</p>
	課題改善案	<p>■ メンバーを募集し、新しいボランティアが加入したが、メンバーは高齢化しており減少傾向にある。協力し事業を次世代へ引き継ぐ努力が必要である。ボランティア支援の在り方を共に考えていく。</p>

■取組8 質の高いサービスを支える体制の整備



取組の目的・概要(運営方針)	取組の実施状況(実績)
<p>(1) 専門性の向上(G4)</p> <p>令和4年度から司書職の会計年度任用職員を2名追加配置したが、全職員の資質向上を図るため、館内研修の実施や、他団体等が開催する研修等へ参加する。</p> <p>(2) 分館の充実(G4)</p> <p>① 資料の貸出・返却、予約資料の受け取りなど、本館と分館間のネットワークの充実を図る。</p> <p>② 各分館のニーズ、利用者層、利用資料の傾向、規模等に応じた蔵書構成を図る。</p> <p>③ 「居心地の良い空間づくり」を目的として令和5年度にリノベーションした中央分館では、令和6年度にブックカフェのイベントを開催するなど、更なる利用者層の取り込みを図った。引き続き、中心市街地という立地を活かし、学生やビジネスマン向けの蔵書を充実させるなど、魅力アップを図る。</p> <p>(3)本のひろばの運用(G4 G11)</p> <p>山形駅東西自由通路及び山形市役所1階に設置している「本のひろば」と「本のひろば@市役所」について、引き続き、高校生をはじめとする若者層や来庁者等に本に親しむ機会を提供する。</p>	<p>(1) 専門性の向上</p> <p>山形県図書館研究大会等への参加や内部の職員研修により、職員の資質向上を図った。</p> <p>・主な研修会 第45回山形県図書館研究大会 (R7.10.30 天童市) テーマ:「人とまちと時をつなぐ わたしの図書館」</p> <p>(2) 分館の充実</p> <p>① 資料の貸出・返却、予約資料の受け取りなど、本館と分館間のネットワークの充実を図った。</p> <p>② 各分館のニーズ、利用者層、利用資料の傾向、規模等に応じた蔵書構成を図るとともに、分館相互で資料を融通した。各分館では、季節や時節の話題に沿った特集コーナーを設け、利用者へのアピールを図った。</p> <p>③ 中央分館では、リノベーションを行ったキッズスペースを活用し、2歳以下の乳幼児を対象にした読み聞かせ事業「絵本とあそぼう@中央分館」を6月から月1回開催した。</p> <p>(3)本のひろば開設</p> <p>取組6(3)「本のひろば・出張貸出(出前図書館)による図書館のPR」参照</p>

<p>(4)図書館情報システムの利便性向上(G4) 利用者にとってより利便性の高い図書館情報システムとなるよう運用の充実に努める。</p> <p>(5)長寿命化に向けた安全・安心で魅力ある施設の整備(G4 G11) 施設の老朽化に伴う計画的な改修を実施し、安全・安心に利用でき、かつ魅力ある施設整備を推進する。 今年度は、親子づれが利用しやすい環境整備として、山形市産材「べにうっど」を活用した木のぬくもりを感じられる授乳室を設置する。</p> <p>(6)危機管理体制の整備(G4 G11) 危機管理研修の開催や災害発生を想定した訓練を実施する。</p>	<p>(4)図書館情報システムの利便性向上 R6.6月のシステム更新を行ったことで、これまで寄せられた利用者からの要望を整理し、反映させた。 ・主な機能 ① LINE連携による蔵書検索及び予約、予約本の受取り連絡 ・LINEを含めたインターネットによる予約率83.8%（12月末現在） ② スマートフォン等での貸出しバーコード表示</p> <p>(5)長寿命化に向けた安全・安心な施設環境の整備(G4 G11) 令和7年度は長寿命化に向けた工事は行っていないが、山形市産材「べにうっど」を活用した授乳室を設置した。(R7.7月)</p> <p>(6)危機管理体制の整備 通常の消防訓練に加え、災害(地震)発生を想定した訓練を実施予定。</p>
<p>評価</p>	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 将来的なシステムの利便性向上のため、旧システムに寄せられた要望を整理し、課題を解消できるようシステム更新を行った。 <input type="checkbox"/> 安心・安全な子育てをできる環境づくりとして、授乳室の設置を行った。 <p>課題改善案</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 図書館システムによる利便性向上を引続き図っていく。 ■ 利用者が、安全・安心に図書館を利用できるよう引き続き、施設の計画的な改修及び維持管理を行っていく。

【一般向け講座・催物】

	開催日	行事	講師・演者等	備考 (回数・参加者等)
1	6月29日(日)	プレ・プチ・平和コンサート IN図書館	山形県少年少女合唱団 南沼原キッズ	50人
2	7月12日(土) 11月8日(土)	りぶ活yama g a t a	市内中学生	8回 4人
3	7月13日(日)	ツイート短歌講座	佐藤紀之氏	12人
4	7月26日(土) ~8月28日(土)	戦争と平和の資料展		
5	8月1日(金)	学校図書館図書整理員研修会	大場恵子氏	38人 ※中央公民館で開催
6	8月9日(土)	戦争を語り継ぐ 大人の部	朗読の会幻耶	16人
7	8月9日(土)	ブックガチャ (惺山高校普通科探求型学習)	惺山高校生徒	45人
8	9月21日(日)	市民講座 「Jリーガーが“山形の人”になるまで」	サッカー解説者 越智隼人氏	30人 ※ボランティア共同企画
9	10月12日(日)	秋の図書館えんにち in 南部公民館まつり (くじびき&アロマジェルポット作り)		くじびき100人 ポット作り 45人
10	11月8日(土)	りぶ活yama g a t a® オリジナル“神”芝居読み聞かせ	りぶ活参加生徒	19人
11	11月16日(日)	ツイート短歌講座 霜月 (佐藤紀之氏 14名)	佐藤紀之氏	14人
12	11月23日(日)	市民講座 「よくわかる浮世絵入門」	広重美術館副館長 梅澤美穂氏	34人
13	12月20日(土)	方言で語る日本の昔話	ききみみの会	
14	1月4日(日) ~1月11日(日)	新春 本の福袋		市内小・中・高 9校79袋協力

15	1月31日(土)	読んでみよう！出してみよう！ 朗読入門	朗読の会幻耶	
16	1月31日(土)	山形市郷土館・山形市立図書館共同展示 ZAO, Then&Now ギャラリートーク	山形大学名誉教授 柳澤文孝氏ほか	※郷土館で開催
17	2月14日(土)	江戸の山形町探検	村山民俗学会 安孫子博幸氏	
18	2月14日(土) ～3月22日(日)	市民の出版物展		

【乳幼児・児童向け講座・催物】

	開催日	行事	講師・演者等	備考 (回数・参加者等)
1	毎週木曜日	絵本とあそぼう (対象：0～2歳)	くまさんの会 おひさま文庫	34回 473人
2	月1回 (日曜日)	おはなしのひろば (対象：幼児～小学生)	「小荷駄のみどり りから・・・」	9回 135人
3	月1回 (土曜日)	おはなし会 ～耳からきく読書～	ききみみの会	9回 130人
4	月1回 (日曜日)	べにっこひろばでおはなし会	「小荷駄のみどり りから・・・」	7回 342人
5	月1回 (第2金曜日)	絵本とあそぼう@中央分館 (対象：0～2歳)	中央分館職員	7回 110人
6	年4回 (春・夏・秋・冬)	絵本とわらべうたのひろば (対象：2～4歳)	海和三枝子氏 梅津登喜子氏 古瀬孝子氏 佐藤美芳氏 保科祐子氏	3回 16人
7	毎週水曜日 第4土曜日	きくちえつろうさんと 楽し むおはなし会	菊地悦郎氏	46回 386人
8	月1回 (日曜日)	図書館の本よみよみ隊	保科祐子氏	9回 169人
9	4月20日(日)	イラストレーター竹永絵里さん オリジナルしおり作りワークショップ	イラストレーター 竹永絵里氏	16人

10	6月14日(土)	英語のよみきかせとうたの会	森俊樹氏	20人
11	6月22日(日)	絵本とお話カムカム広場 ～ブックオフ・スマイルサーキュレーション～	ブックオフスタッフ	23人
12	7月27日(日)	みるみる書ける読書感想文講座	佐藤紀之氏	4人
13	8月3日(日)	夏休み自由研究相談会	山形大学 SCTIA センター	4人
14	8月9日(土)	「戦争を語り継ぐ」朗読会 こどもの部	朗読の会幻耶	21人
15	9月5日(金)	出前図書館 in 東沢小学校		79人
16	9月14日(日)	ポストカードとしおりを作ろう	東北芸術工科大学学生 (社会教育実習)	45人
17	9月19日(金)	交流図書館 in 明治小学校		7人
18	10月12日(日)	大人も子どもも楽しい紙芝居	山形紙芝居研究会	19人
19	11月22日(土)	出前図書館&読み聞かせ in やまがたウィンターデーシェアスマイル	くまさんの会 (読み聞かせ)	34人
20	12月20日(土)	キラキラクリスマスコンサート	山形市役所 ウィンドアンサンブル	39人
21	12月20日(土)	英語で語る読み聞かせとうたの会 in December	森俊樹氏	37人
22	1月24日(土)	とんとんの楽しい人形劇	人形劇サークル とんとん	
23	3月8日(日)	性の多様性理解促進講座	山形市男女共同参画センター/ 横山和江氏(講師)	
24	3月20日(金)	図書館おはなしクラブ ～みしのたくかにと～	「小荷駄のみどり から・・・」	

令和7年度 利用者アンケートの概要

1 目的

山形市立図書館の運営やサービス状況を把握し、今後の図書館運営の改善方法を探るための基礎データとする。

2 実施期間

令和7年12月17日(水)～28日(日)

	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	開館日数
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
本館						休							11日
中央							休						11日
東部					休								11日
北部				休	休								10日
霞城				休	休								10日

3 調査対象

山形市立図書館（本館及び分館）利用者。回答は紙及びインターネットで受け付けた。

4 回答状況

令和7年度の状況

	回答数			期間中の 貸出者数 (B)	A÷B (%)
	紙	ネット	計 (A)		
本館	156	123	279	4,714	5.9%
中央分館	76	17	93	504	18.5%
東部分館	50	7	57	325	17.5%
北部分館	87	31	118	608	19.4%
霞城分館	89	61	150	824	18.2%
計	458	239	697	6,975	10.0%

【参考】令和6年度の状況

	回答数			期間中の 貸出者数 (B)	A÷B (%)
	紙	ネット	計 (A)		
本館	228	150	378	4,102	9.2%
中央分館	61	31	92	452	20.4%
東部分館	39	15	54	256	21.1%
北部分館	29	30	59	463	12.7%
霞城分館	66	59	125	698	17.9%
計	423	285	708	5,971	11.9%

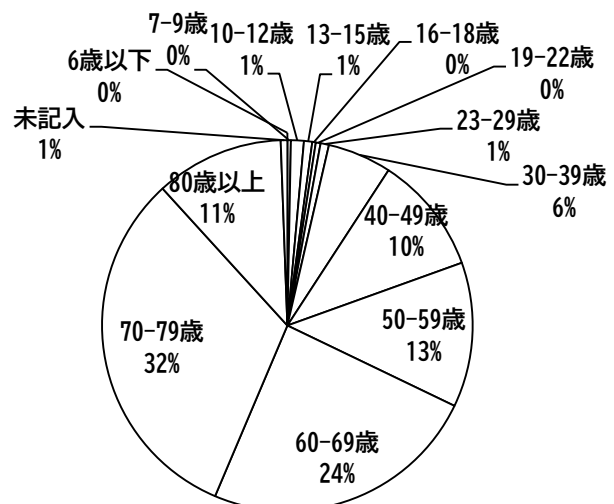
5 調査事項

- (1) 年 齢
- (2) 利用 頻 度
- (3) 来 館 方 法
- (4) 満 足 度
 - ①本や雑誌の種類や数
 - ②本や雑誌などの探しやすさ
 - ③施設の設備(居心地・机・椅子・本棚・バリアフリーなど)
 - ④開館日
 - ⑤開館時間
 - ⑥職員の対応
 - ⑦図書館のサービス(リクエスト・催し物・ホームページ・相談調査など)
- (5) 充実を希望する資料の分野
 - ①一般書
 - ②児童書
- (6) 図書館で開催する講座・展示
 - ①開催を希望する分野
 - ②具体案について
- (7) 電子書籍サービスについて
 - ①電子書籍サービスを利用したことがあるか
 - ②(利用したことがある場合)満足度
(利用したことがない場合)利用していない理由
 - ③電子書籍サービスで利用してみたい本のジャンル
- (8) 図書館のサービスについて、最近の取り組みで知っているもの
- (9) 図書館への意見・要望等(自由記載)

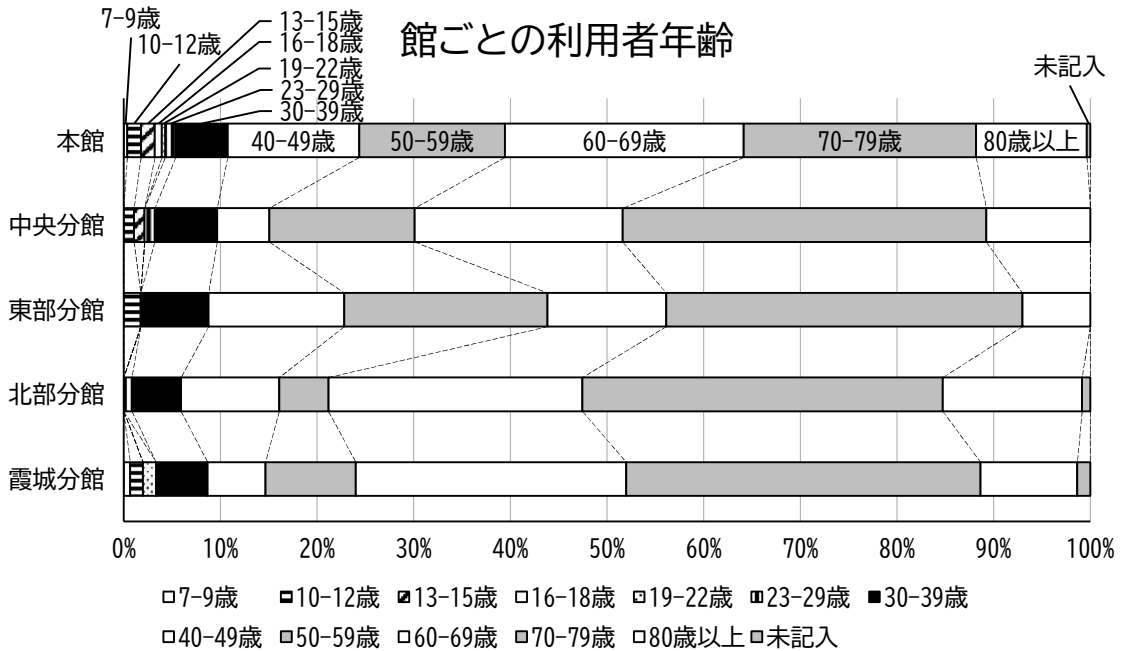
6 調査結果

(1) 年齢

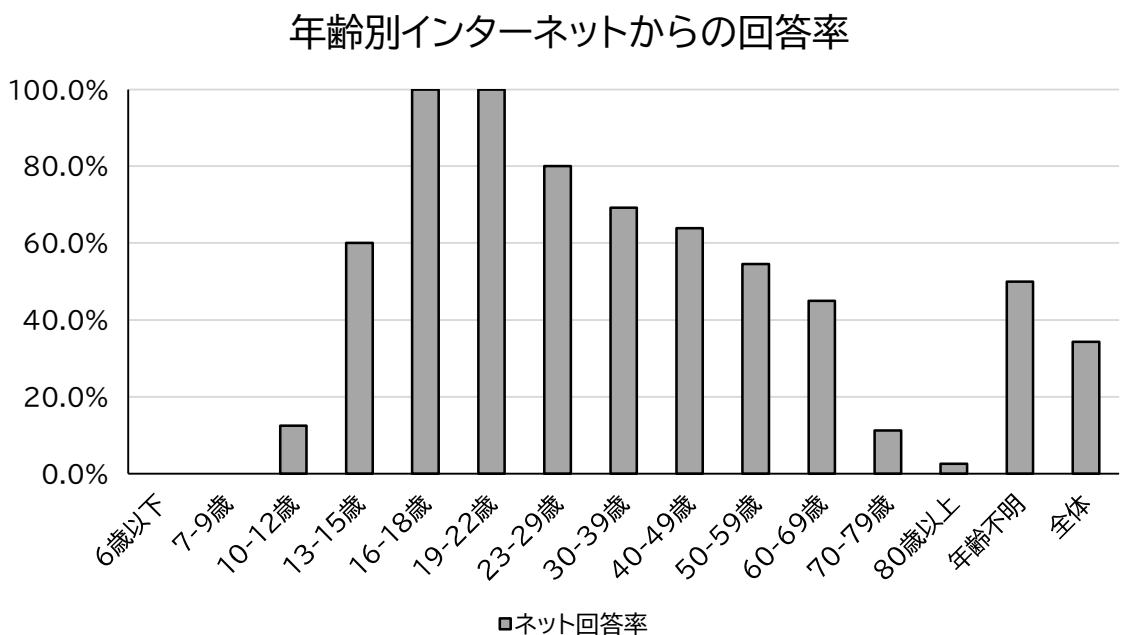
利用者は60～79歳が中心で、40～59歳も4分の1程度を占める。一方で30代以下は少なく、年代構成は昨年度と大きな変化がないことから、若年層の利用促進が引き続き課題となっている。



館ごとの利用者も全体の傾向と同じく、60～79歳が中心となっている。
 一方、北部・霞城分館における40～59歳の利用率が2割程度と全体よりも低くなっている。



インターネットからの回答率は、40～60代で紙回答を上回るか、ほぼ同程度となっており、昨年度よりもこの傾向が明確にみられる。図書館サービスのデジタル化に対する受容が着実に広がっていることが確認できる一方、70代以上では紙回答が圧倒的に多く、年代差が明確に表れている。

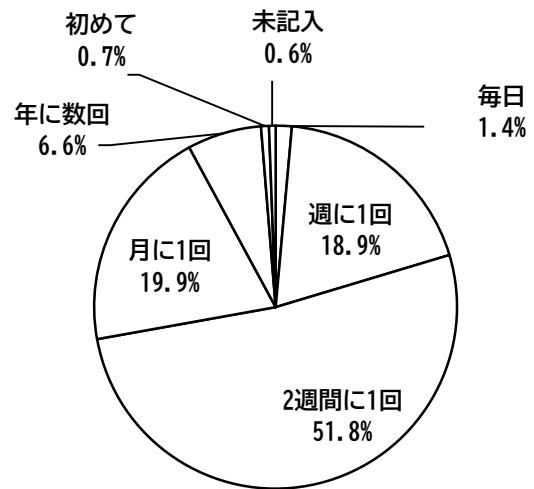


(2) 利用頻度

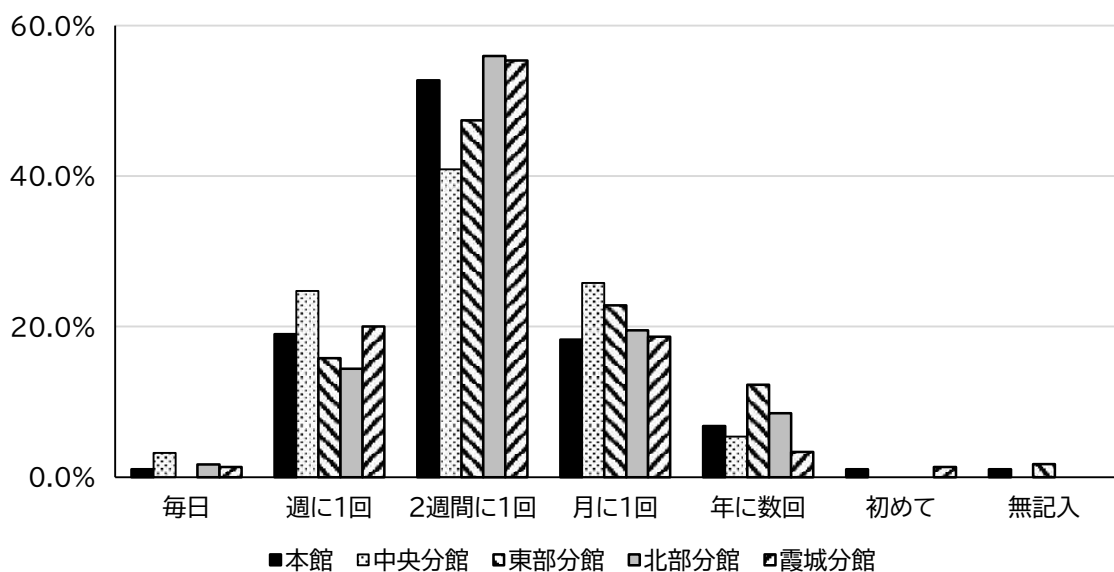
昨年度と同じく貸出期間に合わせた「2週間に1回」が半数を占め、「週に1回」「月に1回」も一定数みられる。このことから、日常的・定期的にご利用されていることがうかがえる。

各館の傾向もほぼ同様であるが、中央分館では「週に1回」「月に1回」の割合がやや高い。

一方、「初めて」の利用者は極めて少ない。新規来館者自体が少ない可能性に加え、初来館時にはアンケート回答まで至りにくい状況も考えられる。そのため、利用促進策を検討するうえでは、新規利用者の声を十分に拾い上げることが出来る仕組みづくりが求められる。



館ごとの来館頻度

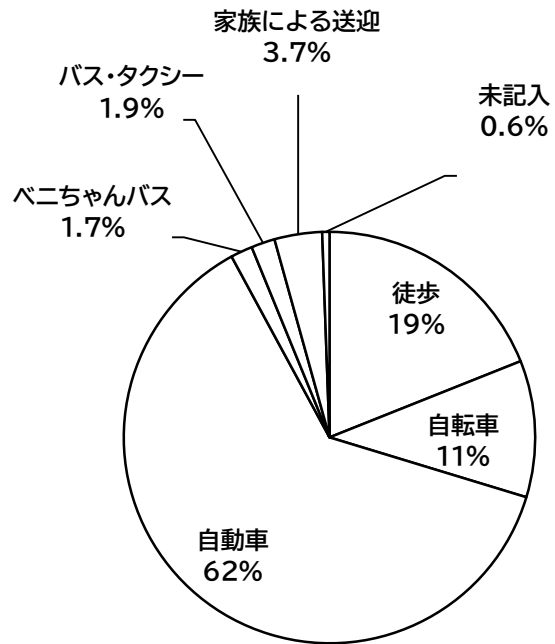


(3) 来館方法

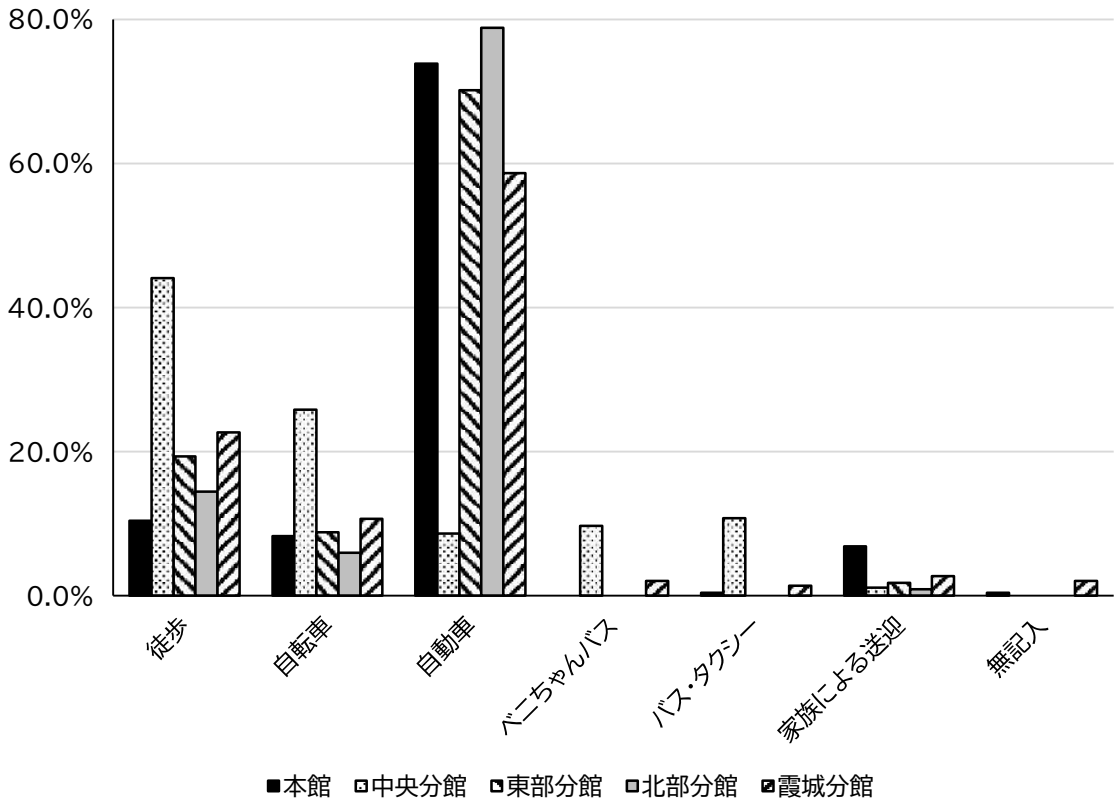
来館方法は全体として自動車利用が最も多い。

一方で、中央分館は大きく傾向が異なり、徒歩・自転車・公共交通機関の利用率が高い。これは、無料駐車場がないことに加え、公共交通の結節点に位置しているためと考えられる。「週に1回」といった利用頻度の高い層も一定数存在している。これらのことから、中央分館は他館と比べ、自動車を利用せずとも継続的に訪れやすい環境にあることが特長である。

このように、立地条件に応じて適切な交通手段を選択し利用していることがうかがえる。



館ごとの来館方法

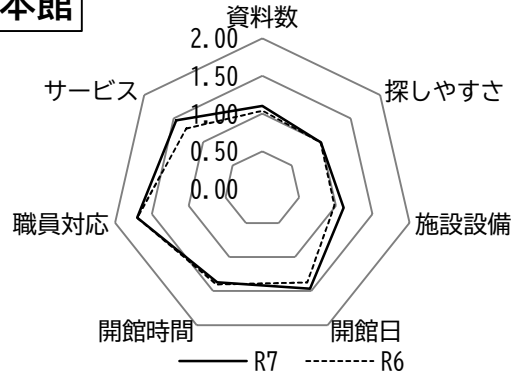


(4) 回答者の満足度（回答数 708）

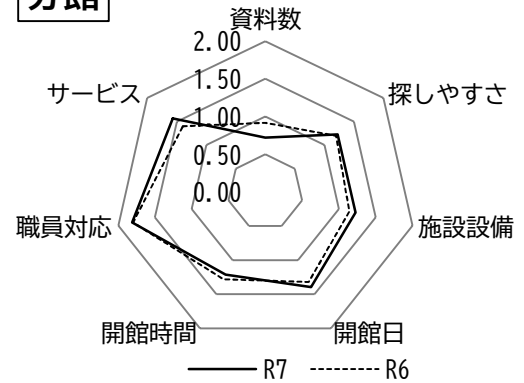
【満足度の評価について】
 「満足」を+2点、「やや満足」を+1点、「やや不満」を-1点、「不満」を-2点とし、合計評点数を回答者数（無回答を除く）で除した値。+2点に近いほど満足度が高く、-2点に近いほど満足度が低い。

ア 全館を通した傾向

本館



分館



前年度と比較し、全体的に満足度の上昇がみられた。特に「施設設備」と「サービス」の改善が顕著で、「職員対応」も引き続き高い評価を得ていることから、利用環境と人的サービスに対する評価が一層高まっていることがうかがえる。一方、分館における「資料数」は大きく低下しており、資料整備の方向性を見直す必要がある。

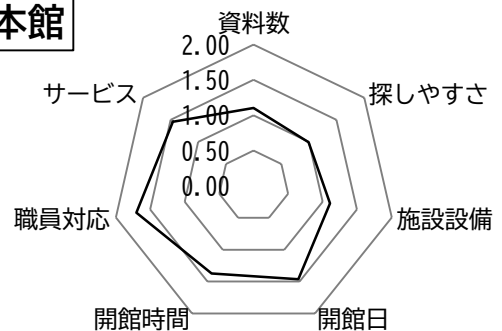
館ごとにみると、本館は資料数や開館日・時間といった利便性の項目で評価を伸ばし、分館は「見つけやすさ」「施設設備」「職員対応」など、小規模館ならではの強みを維持している。

イ 各館の傾向

● 本館

「資料数」「開館日」「開館時間」で高い評価を得ており、蔵書数と利用しやすさが強みとなっている。一方で、「探しやすさ」「施設設備」の評価は他館より低く、館内環境やレイアウトの見直しが今後の課題と言える。

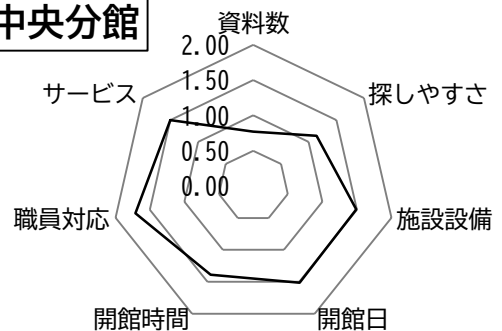
本館



● 中央分館

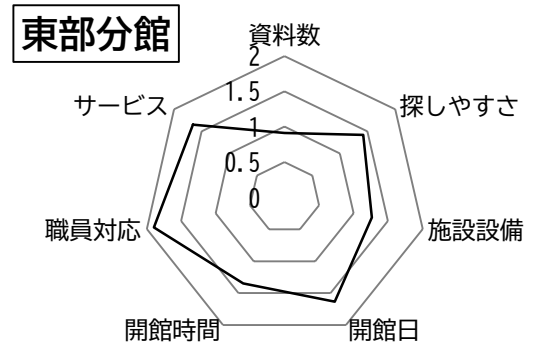
中央分館は「施設設備」「職員対応」で高い評価を得ており、開館日・開館時間についても概ね満足が多い。一方、「探しやすさ」についても分館の中では評価が低い。限られたスペースの中で、資料配置の工夫が求められる。

中央分館



- 東部分館

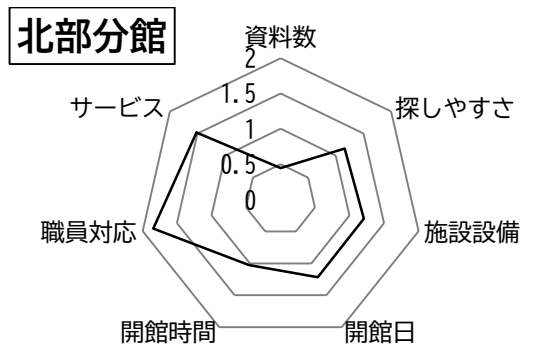
「職員対応」「サービス」「探しやすさ」の評価が高く、小規模館としての使いやすさと丁寧なサービスが高く評価されていると考えられる。一方で、「資料数」に対する評価は低めであり、資料整備が課題である。



- 北部分館

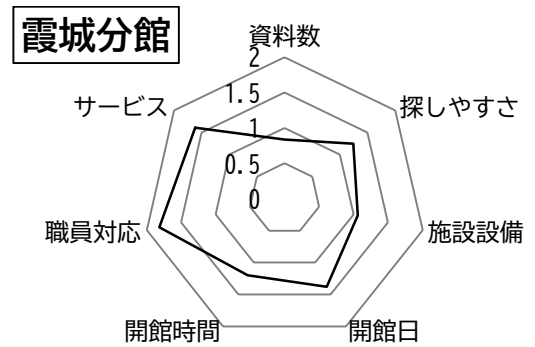
「職員対応」は非常に高いが、その他の項目は、特に「資料の充実度」の評価が低い。

「資料数」に対する「やや不満」「不満」の回答は合計で37%となっており、全館の中で突出して多い（他の館は20%前後）。そのため、早急に改善の検討が必要な状況である。



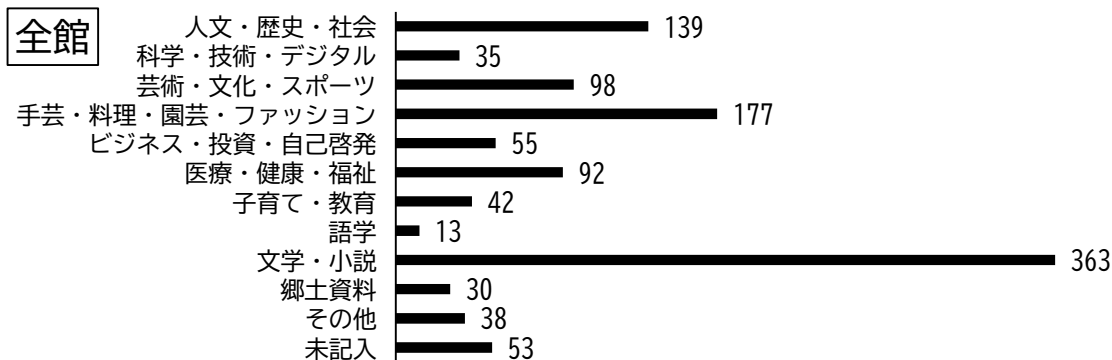
- 霞城分館

他の分館と同様に「職員対応」の評価が高く、「資料数」の評価が低い傾向がみられる。また、分館の中では「施設設備」の評価が特に低い。霞城分館はロビーから連続した空間をアコーディオンカーテンで間仕切りして使用している。壁に囲まれた独立した空間を持つ他館との構造の違いが、この評価につながった可能性がある。



(5) 充実を希望する資料の分野（複数回答可）

ア 一般書（回答者数644人 未記入53人 回答数1,082）



【その他の内容】（全体で49件、選択肢にない要望のみ・類似意見は集約）

- ① 文学・読み物関連
 - エッセイ
 - アンソロジー・短編集
 - 海外小説
 - 韓国歴史ドラマ関連の作品
 - 漫画（他6件）
- ② 趣味・実用関連
 - 旅行（他3件）
 - D I Y
 - アウトドア（他2件）
 - 動物
 - 工学
 - 音楽関係（特に楽譜）
 - 環境
 - 老後生活
- ③ 学習・教養関連
 - 英会話（シニア向け）
 - 英語多読の本
 - 哲学
 - 宗教（他1件）
 - 歴史
- ④ その他の分野
 - C D
 - 落語のC D
 - 雑誌
- ⑤ その他の要望
 - マンガ本を新しくしてほしい
 - 分類を細かくしてほしい（特に旅行）
 - 新刊情報を館内に掲示してほしい
 - 雑誌のバックナンバーを探しやすいしてほしい
 - シリーズものはそろえてほしい

【各館の人気分野上位5位】

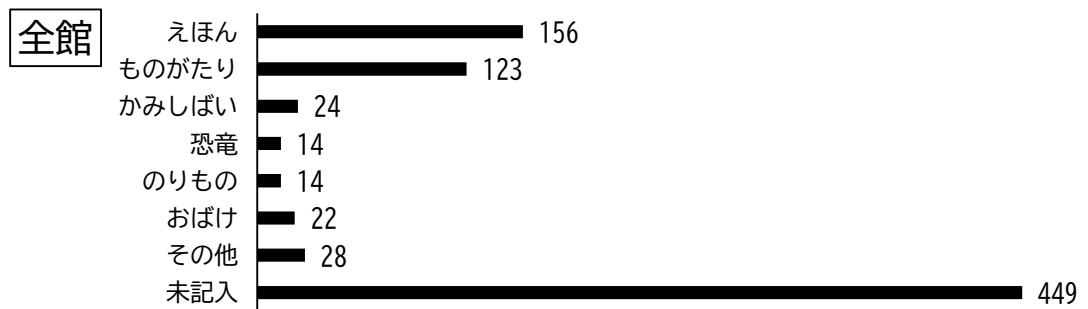
	本館	中央分館	東部分館	北部分館	霞城分館
1位	文学・小説				
2位	手芸・料理・園芸・ファッション				
3位	芸術・文化・スポーツ	人文・歴史・社会	人文・歴史・社会	医療・健康・福祉	人文・歴史・社会
4位	人文・歴史・社会	医療・健康・福祉	医療・健康・福祉	人文・歴史・社会	医療・健康・福祉
5位	ビジネス・投資・自己啓発	芸術・文化・スポーツ	子育て・教育	ビジネス・投資・自己啓発	芸術・文化・スポーツ

全館共通して、1位が「文学・小説」といった読み物、2位が「手芸・料理・園芸・ファッション」といった暮らしに密着した分野が選ばれており、自由記述でも小説・漫画・短編集や、旅行・アウトドア・老後生活など生活実用に関する要望が多く寄せられた。市立図書館が「身近な図書館」として利用されていることを示している。

一方、3位以降の傾向は館ごとに異なる。本館は「人文・歴史・社会」「芸術・文化・スポーツ」の学習・教養に関する分野の人気の高い。また、表にはないが「郷土資料」の希望も本館に集中している。中心館として、専門的な資料の提供も求められている。

分館では「医療・健康・福祉」や「子育て・教育」など、日常的な関心に関連した分野が上位となっており、暮らしに密着した利用が中心であることがうかがえる。これらの違いは、館ごとの利用実態に応じた資料整備を進めるうえで重要な示唆となる。

イ 児童書（回答者数248人 未記入449人 回答数381）



【その他の内容】（全体で21件、選択肢にない要望のみ・類似意見は集約）

- ⑥ 図鑑・科学・探究系
 - 図鑑（他3件）
 - 自然科学
 - 科学・化学
 - 昆虫
 - 植物
 - ○○のひみつシリーズ
 - 産業・プログラミング
- ⑦ 絵本・読み物
 - 迷路
 - しかけえほん
 - 大型絵本
 - 英語で書かれた絵本
 - ミステリー小説
- ⑧ 趣味・テーマ別の本
 - エコ工作
 - おもちゃ作り
 - 日本や世界の名所地図
 - 子ども向けのマネー・経済の本
 - コミック類（学術的な）その他の要望

【各館の人気分野上位3位】

	本館	中央分館	東部分館	北部分館	霞城分館
1位	えほん				
2位	ものがたり				
3位	かみしばい	恐竜	恐竜	かみしばい	おばけ

まず、未記入が約6割を占めており、一般書と比べて回答率が低い点が大きな特徴である。自由記述に「児童書を利用していない」といった回答が一定数見られること、年代ごとに記入率に大きな差があること（20～49歳は8割以上が記入、60歳以上は6割以下）を踏まえると、児童書の利用・関心には大きな偏りがあることが分かる。

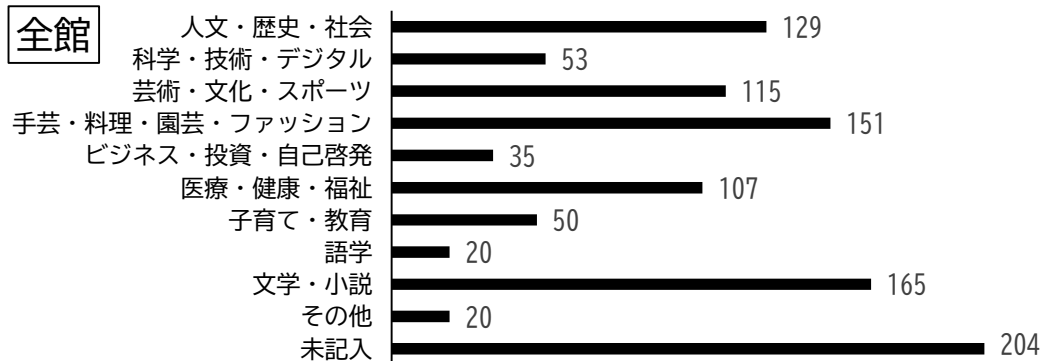
そのうえで、一般書以上に希望ジャンルの偏りが大きく、「えほん」「ものがたり」が全体の約7割を占める。一方で、回答数に比して自由記述の記入数は多く、「図鑑」「英語絵本」「子ども向けのマネー本」など学習・探究系の資料を求める声が複数寄せられた。また、「大型絵本」「しかけ絵本」「迷路」など、読み聞かせや体験型の本への要望や、工作系資料の根強い人気も確認できる。

館ごとの傾向を見ると、3位に挙がるジャンルは、読み物・読み聞かせの側面を持つ「かみしばい」「おばけ」と、学習・探究系の側面を持つ「恐竜」とに二分される傾向がある。

全体として、児童書は「読み物・読み聞かせ」と「学習・探究」の二極構造が見られる。また、利用者の大部分を占める60歳以上における未記入率が特に高いことから、利用者層に応じた需要の把握と、児童書利用への働きかけが必要であると考えられる。

(6) 図書館で開催する講座・展示（複数回答可）

ア 開催を希望する分野（回答者数493人 記載なし204人 回答数845）



【その他・具体的な開催案の内容】（全体で83件、選択肢にない要望のみ・類似意見は集約）

- 【特集・展示】**
- ① 文学・作家・読み物系
 - 作家・作品の特集（他6件）
 - 映画化・ドラマ化作品の紹介（他1件）
 - 漫画
 - ② 郷土・地域（山形関連）
 - 山形の歴史（他6件）
 - 山形五堰
 - 地元の特産品
 - 郷土作家
 - ③ 科学・技術
 - 星座
 - ノーベル賞関連
 - 自由研究に使える本
 - 工学関連
 - ④ 生活・趣味
 - 季節の料理
 - 園芸
 - 手芸作品の展示会
 - ⑤ その他
 - 年間貸出ランキング
 - 公民館講座と連携した関連本展示
- 【催し物】**
- ① 文学・作家・読み物系
 - 郷土作家含む作家の講演会・対談・トークショー（他8件）
 - ビブリオバトル
 - 私小説の書き方講座
 - ② 郷土・地域（山形関連）
 - 山形県の歴史人物トーク
 - 山形の歴史講座
 - 山形五堰の講座
 - 建物探訪
 - 県立博物館との連携講座（歴史・化石）
 - 地元アーティストの演奏会・講演
 - ③ 科学・技術
 - 子ども向けプログラミング教室
 - AI活用術講座
 - 自由研究支援教室
 - ④ 生活・趣味
 - 編み物・手芸教室（他5件）
（クラフト教室、手軽な編み物など）
 - 季節の料理講座
 - 園芸の専門家による講座
 - クリスマスリース・キャンドル作り
 - ⑤ 医療・健康
 - 健康寿命講座
 - 体の悩み相談会
 - 薬草講座
 - 介護講座
 - 高齢化への不安対応講座
 - ⑥ 子ども向け
 - ワークショップ
 - 絵本作家の話
 - 謎解きイベント
 - ⑦ その他
 - 図書館・バックヤードツアー
 - バザー
 - 手話通訳付きの講座

【年代別の人気分野上位3位】

	10～19歳	20～39歳	40～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
1位	文学・小説	芸術	芸術	人文	文学・小説	人文
2位	芸術	生活	生活	生活	人文	医療
3位	科学	生活	文学・小説	文学・小説	生活	文学・小説

※選択肢の名称を次のように省略

人文←人文・歴史・社会／科学←科学・技術・デジタル／芸術←芸術・文化・スポーツ
生活←手芸・料理・園芸・ファッション／医療←医療・健康・福祉

一般書と同じく、「文学・小説」「手芸・料理・園芸・ファッション」「人文・歴史・社会」の希望が多く、自由記述でも同様の傾向が確認された。

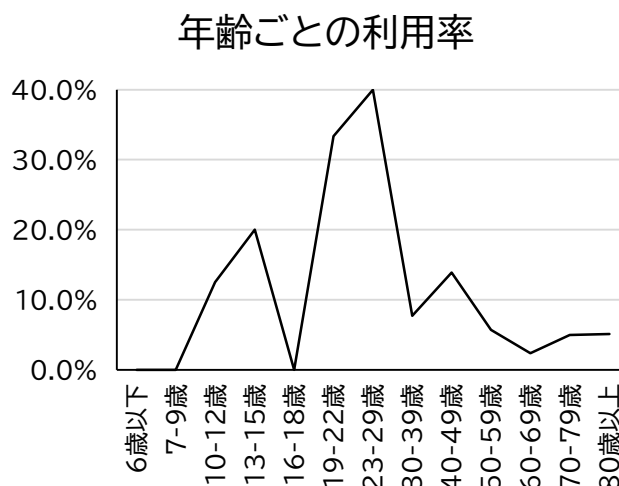
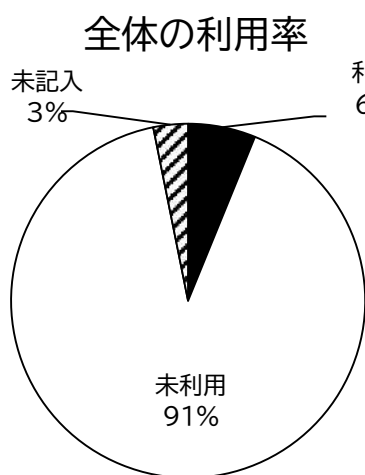
文学・作家関連の希望は全世代で高い。手芸・園芸・料理などの生活・趣味分野は60歳以上で強く、参加型としてのニーズが高い。また、表には表れないが郷土・地域に関する要望も多く、山形の歴史や郷土作家、山形五堰など、地域性を活かした展示・講座が期待されている。

図書館の利用促進としては、若年層にニーズがみられるプログラミングやAI活用など科学・デジタル分野の講座も効果的と考えられる。さらに、書庫ツアーやバックヤード見学など、図書館内部を体験する企画は利用者の愛着を高め、ファンづくりに寄与する点で有効である。

一方で、催し物の実施には一定の事務負担が伴うため、展示との組み合わせや年数回の実施など、運営体制に応じた計画が求められる。

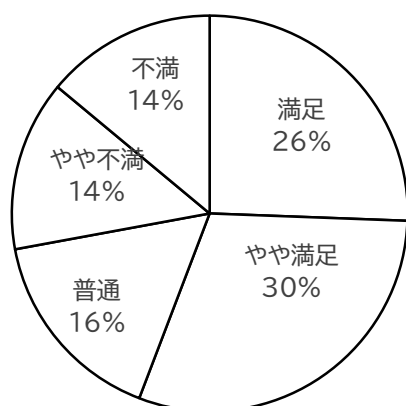
(7) 電子書籍サービスについて

ア 年齢別利用状況 (利用43 未利用632 未記入22)



イ 利用者の評価

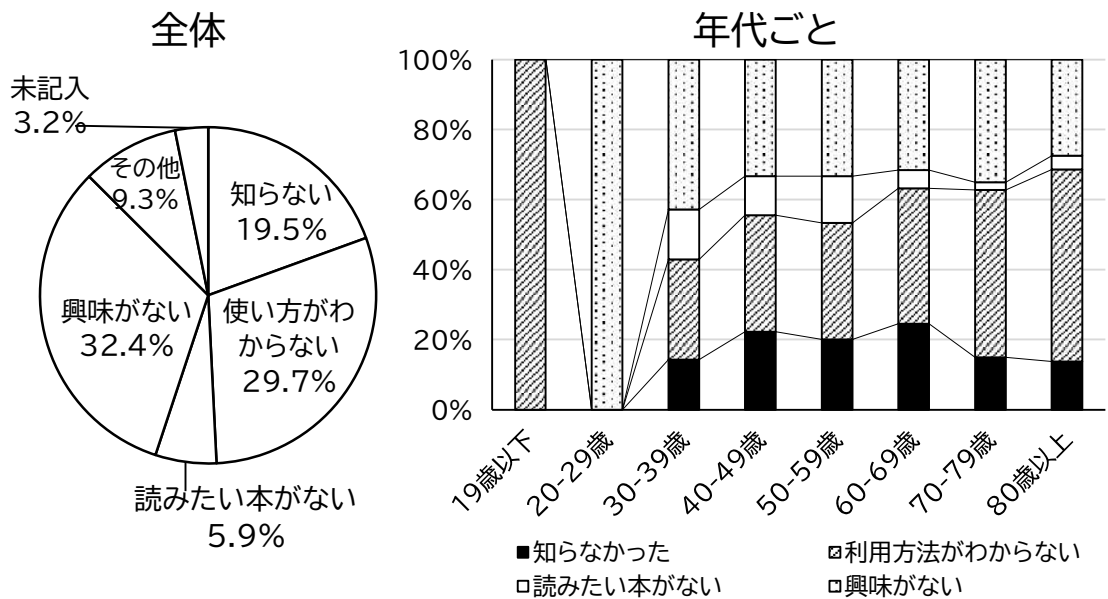
(満足10 やや満足13 普通7 やや不満6 不満6 未記入1)



【評価に関する自由記述】

- ① 蔵書について
 - 本が少ない(冊数・種類・新刊・大人向け)
 - 青空文庫ばかり
- ② 操作性について
 - スマホで見づらい
 - 文字拡大とスクロールが面倒
 - ID・パスワードでログインできない
 - 検索・文字変換が難しい
 - 検索しやすい
 - 本の題名だけでは中身がわからない
 - 簡単な説明が欲しい
- ③ その他
 - 試し読みで合わないことが多い
 - どこでも使え便利になった

ウ 利用していない理由



【自由記述】(全体で63件、選択肢にない要望のみ・類似意見は集約)

- ① 紙の本を好む
 - 紙で読みたい／紙が好き (他18件)
 - 本を手にとって読みたい
 - 紙の方が読みやすい／一覧性に優れる
 - 紙の本で現在満足している
 - 本は紙で読みたい、資料は電子でもよい
 - 紙でないと集中できない
 - 普段読むのは絵本 (読み聞かせ用)
- ② 身体的負担
 - 目が疲れる (他6件)
 - 見づらい／読みにくい
 - 目の病気があるため
 - 電子は目に悪い
- ③ サービス・内容への不満
 - 本数が少ない (他1件)
 - 県立図書館のサービスはラインナップが少なく使いにくかった
 - 紙と同じで予約待ちが必要
- ④ 利用意向はあるが未利用
 - これから利用したい (他7件)
 - 試す機会・時間がない (他2件)
- ⑤ その他
 - 実際に図書館へ行くのが楽しみ
 - 読む機会がない
 - 必要に迫られていない
 - 仕事で毎日パソコンを見るため電子は避けたい
 - 図書館や書店での出会いの方が良い

エ 電子書籍において希望するジャンル



【年代別の人気分野上位2位】

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
1位	小説							
2位	その他	※	その他	朗読	ハウツー本	朗読	朗読	ハウツー本

※20～29歳は小説以外の回答無し

全体として電子書籍サービスの利用率は1割未満にとどまり、年代によって利用状況に明確な差が見られる。特に40代以下と50代以上では利用率に開きがあり、未利用理由の傾向も大きく異なる。

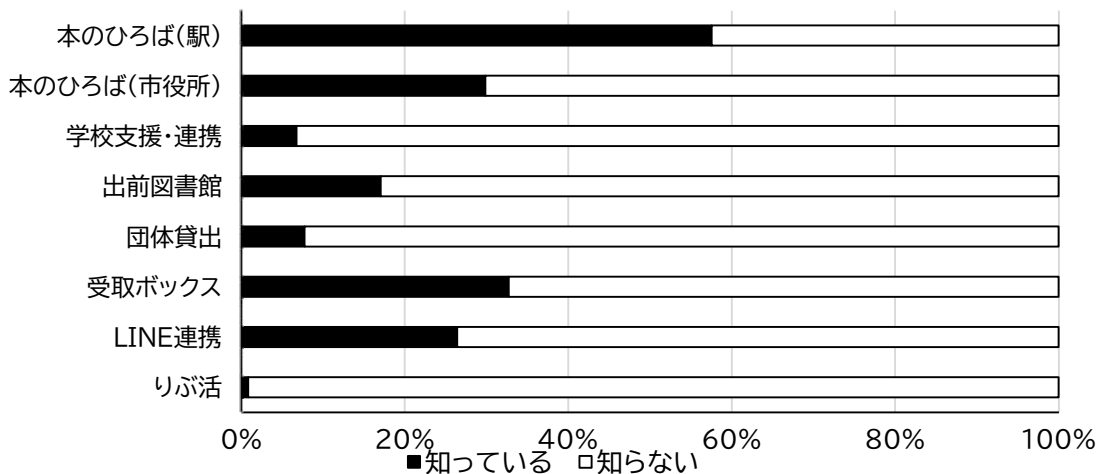
60代以降では「使い方がわからない」「存在を知らなかった」といった認知・操作面の課題が多く、50代では紙媒体への志向やラインナップ不足が主な理由となっている。一方、若年層では「必要性を感じない」「紙で読みたい」といった価値観による未利用が中心で、操作面の問題はほとんど見られない。

希望するジャンルでは、紙の本と同様に「小説」が全年代で最も支持されている。加えて40代以降では朗読の需要が高まり、ライフステージに応じたニーズの違いが確認できる。

利用者の評価や未利用理由の自由記述では「本の数の少なさ」が共通の不満点として挙げられており、サービス改善の重要な指標となる。一方で、利用に前向きな回答も一定数存在し、潜在的な利用意向を持つ層も少なくない。

電子書籍の普及には年代別の課題に応じたアプローチが不可欠であり、特に高齢層への支援とラインナップ拡充が鍵となる。

(8) 図書館のサービスや最近の取組みで知っているもの



【年齢ごとの認知者数】(未記入のぞく、人数が多いほど濃い色)

	本のひろば(駅)	本のひろば(市役所)	学校支援・連携	出前図書館	団体貸出	受取ボックス	LINE連携	りが活
7-12歳	5	4	1	0	0	2	1	0
13-15歳	4	1	0	0	0	1	1	1
16-18歳	1	0	0	0	1	0	0	0
19-29歳	7	2	0	1	0	3	3	0
30-39歳	27	12	2	6	6	16	22	1
40-49歳	49	28	9	9	2	35	34	1
50-59歳	66	32	9	22	13	43	36	2
60-69歳	102	54	15	31	17	56	54	1
70-79歳	107	56	6	34	9	61	27	0
80歳以上	31	18	5	15	6	10	5	0

図書館サービスの認知には明確な年代差が表れた。

まず、60～79歳は全サービスにおいて認知度が最も高く、図書館サービスをよく理解している層である。この年代は来館頻度も比較的高く、各サービスに触れる機会が多いことが認知の高さにつながっていると考えられる。一方、10～29歳はほぼすべてのサービスで認知が著しく低い傾向がみられた。

30～49歳は一定の来館者が存在するにもかかわらず、学校支援・団体貸出・出前図書館・りが活といった、教育・地域連携系サービスの認知が低い点が特徴的である。本来、子育てや学校活動との関わりが深く潜在的な利用ニーズが高い年代と推測されるが、情報提供が十分でなく、利用機会が損なわれていると考えられる。

また、デジタル系サービス（LINE連携等）の認知は70歳以上で急激に低下し、年代間のデジタル格差が明確に表れた。図書館サービスの認知には明確な年代差が表れた。

(9) 図書館への意見・要望

ア 施設・設備に関する意見

- 駐車場を増やしてほしい、停めにくい（他28件）
- 駐車場が満車で利用できないことが多い（他20件）
- 読書スペースを増やしてほしい。机・椅子などを充実させてほしい（他14件）
- 空調が暑い・寒いなど温度差が大きい（他12件）
- 分館のスペースが狭いので改善してほしい（他7件）
- 本館・分館の老朽化が気になる。建て替え・改修してほしい（他6件）
- トイレを改修してほしい、子どもが怖がる、設備が古い（他5件）
- 返却ボックスを屋外にも設置してほしい（他4件）
- W i - F i を全館で利用可能にしてほしい（他3件）
- 絵本コーナーや児童書の照明を明るくしてほしい
- 地下書庫の待ち時間を短縮してほしい
- トイレ前に本を置く台がほしい
- 館内が暗いので明るくしてほしい
- 高齢化の進展を踏まえ、アクセスの良い場所への移転を検討してほしい

イ 開館時間

- 土日・祝日の開館時間を延長してほしい（他18件）
- 開館時間を早めてほしい（他7件）
- 開館日を館ごとにずらしてほしい
- 夜間（21時頃）まで開館してほしい

ウ 蔵書・資料に関する意見

- 新刊をもっと増やしてほしい〔特に分館〕（他10件）
- 文庫・シリーズ物が揃っていないので整備してほしい（他6件）
- マンガの選定基準が不明。人気作が少ない（他5件）
- 絵本が探しにくい。五十音順など整理を改善してほしい（他5件）
- 特に分館の手芸・園芸など実用書の新しい本が少ない（他4件）
- 大活字本を増やしてほしい（他3件）
- マンガの蔵書一覧がほしい
- C Dのラインナップが偏っている。若い世代向けも入れてほしい
- 写真雑誌「フォトコンテスト」を入れてほしい
- 話題図書の展示を増やしてほしい
- 郷土作家の本を増やしてほしい
- 長編小説の目録を作してほしい
- 古くなった名作絵本を買い直してほしい
- 電子書籍を充実してほしいが、紙の蔵書は減らさないでほしい

エ サービス・システム

- 貸出期間を3週間にしてほしい（他15件）
- ネット予約・検索システムが使いにくい。改善してほしい（他14件）
- 予約本の受取ボックスの空きを増やしてほしい（他12件）
- 山形駅や商業施設に受取ボックスを設置してほしい（他6件）
- 利用履歴をネットで確認できるようにしてほしい（他6件）
- 新刊は発売後すぐに予約できるようにしてほしい（他5件）
- 予約冊数を増やしてほしい（他5件）
- コミックも予約できるようにしてほしい（他3件）
- 予約の順番がなかなか回ってこないのを改善してほしい
- 利用履歴をネットで確認できるようにしてほしい（他6件）
- リクエストの基準が不明。
- LINE 検索後の操作がわかりにくい
- カードを忘れた時のためにアプリにバーコードを表示してほしい
- 過去の貸出ランキングを見られるようにしてほしい

オ 職員対応

- 職員が親切で丁寧、挨拶が気持ちよい（他40件以上）
- 本館の職員は特に丁寧で良い（他4件）
- 一部の職員が無愛想で不快に感じた（他3件）
- 苦手な職員がいるので、その日は来館を避けたい

カ マナー・環境

- 館内で走り回る子ども、大声で話す利用者がある（他10件）
- 汚れた本・破れた本が多いので点検してほしい（他4件）
- 咳・くしゃみをマスクなしでする人がいる
- 本館の新聞エリアが寒い
- 静かすぎるのではなく、ゆったり過ごせる空間にほしい

キ その他

- 図書館は大切な場所であり感謝している（他多数）
- 長年利用しており、今後も続けてほしい
- 文化レベルを支える存在として期待している
- 病院との連携で入院患者も本を読めるようにしてほしい
- 読書会やイベントを増やしてほしい（他3件）
- 大人向けの読み聞かせ会を開催してほしい
- ボランティア活動に興味がある
- リサイクル本の案内をもっとわかりやすくしてほしい
- アンケートの結果とその対応策を示してほしい（他3件）

取組2 ICT を活用した情報提供の推進

(5) 電子書籍サービスについて

1 事業の概要

(1) 目的

- ア 読書離れが進む中で、インターネットを介した非来館型の図書館資料の貸出、閲覧などの機能を有する電子書籍サービスの導入により、市民の新たな読書環境を構築する。
- イ 身体的配慮等が必要な市民(障がい者、高齢者等)や、交通手段がなく来館が難しい市民に対しても読書のバリアフリー化を推進し、等しく読書の機会を提供する。
- ウ 山形市の教育行政の柱である小中学校のICTの活用により、児童・生徒への豊かな読書機会の提供や学習意欲向上につながる環境整備を行う。

(2) 開始日時

令和7年12月3日(水)午前9時30分

(3) サービス内容について

ア 利用できるコンテンツ内訳 (令和8年1月5日現在)

電子書籍の種類	点数	備考
一般書	2 1 7	小説、趣味・教養の実用書等を中心に選定
児童書	1, 0 1 5	複数人で同時に閲覧可能なもの、教科書に関連するもの、朝読書向けのもの等、学校で活用できるものを中心に選定
オーディオブック	1 8 8	著名な作家、作品から選定
青空文庫	1 1, 1 9 6	著作権が消滅した作品、または著者自身・遺族などが許諾した作品等
計	1 2, 6 1 6	

イ 利用について

(ア) 利用できる方(登録対象者)

- ・貸出カードを持っている山形市在住の方
- ・児童、生徒には在校中有効なID・パスワードを別途発行

(イ) 貸出冊数・期間

2点まで2週間 ※予約(2点まで)や延長も可能

(ウ) 利用に必要なもの

- ・ID……………貸出カードの登録番号(6桁)を基に図書館が設定
- ・パスワード……図書館で設定の上、配布

ウ 利用方法

- ・図書館ホームページから電子書籍サービスにアクセス

エ 機能

(ア) いつでも・どこでも24時間利用可能

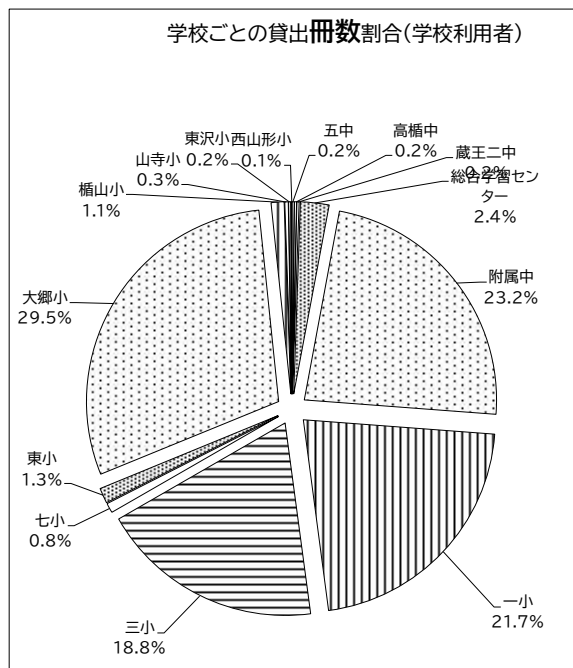
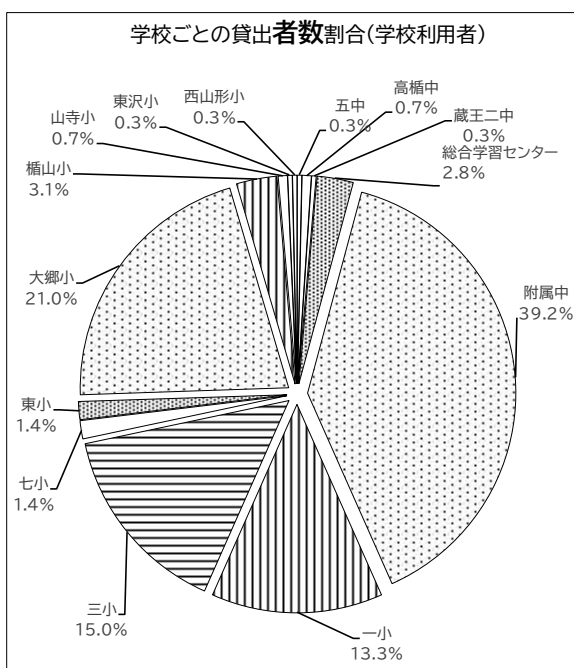
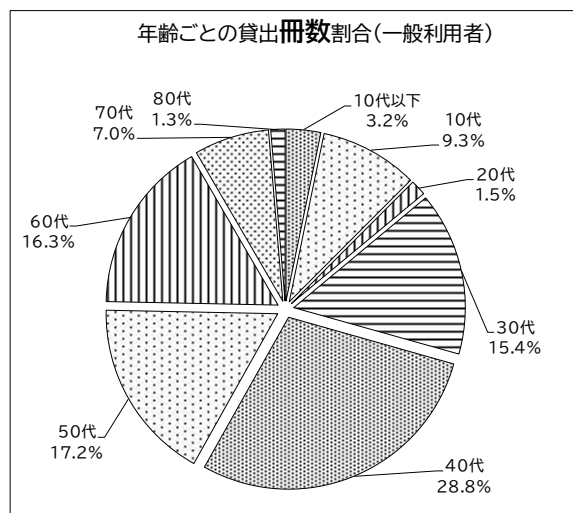
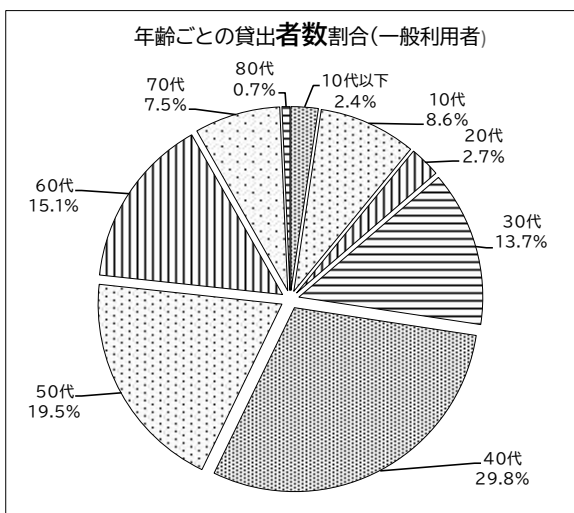
- ・貸出及び返却（貸出期限が来れば自動返却）

- ・利用状況確認等

(イ) 読書バリアフリーの促進 [文字の拡大・音声読み上げ機能（一部）等]

2 実績(令和8年1月5日現在)

ログイン者数	貸出者数	貸出冊数	登録対象者数	
	578	1,765	45,669	
995	内一般利用者	292	681	27,215
	学校	286	1,084	18,454



3 課題・調整等

- ・山形連携中枢都市圏での共同運用

令和8年度から、村山市・河北町・大石田町の2市2町で共同運営を実施するが、さらなる圏域住民の読書環境の向上と経費の圧縮等の事業の効率化を図るため、令和8年度中に圏内自治体からの参加を募り、できるだけ多くの自治体との共同運営を目指す。

・障がい者団体との連携

障がい者団体からの意見等を反映し、読書バリアフリーの推進を図る。

4 今後のスケジュール

【令和7年度】

▶3月末まで

- ・新しい地方経済・生活環境創生交付金(デジタル実装型)実績報告
- ・小中学校における電子書籍サービスの試験運用
- ・広域連携(村山市、河北町、大石田町)調整作業
(協定、選書基準、システム運用管理、操作手順確認等)

【令和8年度】

▶4月1日

- ・広域連携(村山市、河北町、大石田町)に伴う協定締結
- ・小中学校における電子書籍サービスの本格稼働

▶4月中

- ・広域連携協定に基づく連絡会議

▶6月～7月

- ・連携中枢都市圏 WG 開催(令和9年度以降の参加について)

▶通年

- ・障がい者団体、小中学校をはじめ利用者アンケート調査など、市民からの意見徴収の実施
- ・選書作業

5 その他 ICT を活用した情報提供の推進事業について

「インターネット予約を活用した団体貸出申し込み」の試験運用について

(1) 実施目的

学校における団体貸出をより便利かつ効果的なものとするため、インターネットで希望する本を予約できる環境を整備するための最適な運用方法を探るため、学校の協力を得て様々な方法を試すもの。

(2) 協力校の募集

5校程度(1月11日現在、蔵王二中、付属中が申し込み)

(3) 協力校の募集期間

令和8年1月6日(火)～1月20日(火)

「絵本とあそぼう@中央分館」について

1 目的

乳幼児が物語等に親しむ機会を提供し、読書活動の推進を図る。

中心市街地にある立地条件や分館の特性を生かした事業の実施により、本館とは異なる新たな利用者へのサービス提供を行う。また、中央分館の魅力を発信し、利用者の増へつなげる。

2 事業概要

(1)日時

毎月第2金曜日 午前10時30分から11時まで

※初回は令和7年6月13日(金)、10月は第1金曜日

(2)場所

アズ七日町5階中央公民館内 キッズスペース、和室

(3)対象年齢

0～2歳

(4)定員

10人程度

(5)内容

絵本の読み聞かせや、わらべうた、紙芝居を楽しむ

(6)担当

中央分館職員

(7)令和7年度事業実績(12月末現在)

ア 開催回数 7回

イ 参加者数 110人(大人47人 子ども63人)

※親子のほか、近隣の保育ママの参加あり

(8)令和8年度事業予定

毎月1回、引き続き事業を実施する予定



「山形市教育大綱」及び「山形市教育振興基本計画」に基づき、「生涯学び、人と地域とかがわり、よりよい社会を築く人づくり」を目指します。

また、山形市立図書館基本方針に基づき、生活の充実、地域課題や生活課題への市民の主体的学習を支援するため、多様な資料・情報の充実に努め、身近な情報拠点、地域文化の創造の場としての図書館、さらに市民とともにさまざまな企画や図書館運営を図ることにより、市民のニーズを反映し、市民に身近で親しまれる図書館を目指します。

1 山形市教育振興基本計画における施策の展開

施策の方向 2	生涯学習の推進
基本施策 5	生涯学び、人と地域とかがわり、よりよい社会を築く人づくり
施策 5-2	市民の主体的学習を支援する図書館運営

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



この計画では、将来にわたり持続可能な社会の実現に向けて、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献することを目指します

2 具体的な施策と取組の目的・概要

施策の方向2	生涯学習の推進	基本施策5	生涯学び、人と地域とかがわり、よりよい社会を築く人づくり
施策 5-2	市民の主体的学習を支援する図書館運営		
	<p>図書館に求められる役割が、従来の「借りる・読む・調べる」とどまらず、利用者一人ひとりや地域全体の課題解決に役立つ「情報と学びの拠点」へと大きく変化している。こうした状況を踏まえ、市民の立場に立った図書館サービスの充実を図るとともに、ICTを活用した情報提供の推進、資料の収集・整備・保存と提供の充実に努める。</p> <p>あわせて、多様な学習の機会や活動・発表の場の提供、学校図書館等との連携による教育活動への支援、広報・広聴および情報発信を進めるほか、市民参加による図書館運営を推進し、質の高いサービスを支える体制の整備に努めることで、市民の学びと成長を継続的に支援する。</p>		

■取組1 市民の立場に立った図書館サービスの充実



(1) 乳幼児・児童向け資料の充実と子育て支援資料の提供 (G4)

- ① 乳幼児・児童向け資料(絵本、物語等)の収集に努め、資料の充実に努める。
- ② 子育てに役立つ絵本紹介パンフレット「絵本と遊ぼう」の作成・提供を行う。

(2) 中高生向け資料の充実 (G4 G5)

資格取得や起業を含めた進路選択に役立つ資料をはじめとした、中高生向けの資料の収集に努め、ヤングコーナーの充実を図る。

(3) 高齢者・障がい者向け資料の収集と館内環境の整備 (G3 G4 G10)

- ① 「読書バリアフリー法」(R1.6.28 施行)の目的に沿って、高齢者や障がい者が利用しやすい大活字資料や録音図書資料を収集し、手に取りやすい本の配置と環境の整備に努める。
- ② 高齢者、障がい者、その家族の関心の高い趣味や医療・介護・福祉等の資料の収集に努める。

(4) 来館困難者への資料提供 (G3 G4 G10)

- ① 団体貸出を通して、高齢者福祉施設や障がい者福祉施設に入所されている方への資料提供を行う。
- ② 電子書籍サービスにより、市民が図書館に来館しなくても、いつでも・どこでも読書ができる環境を提供する。

(5) 貸出カード登録率向上に向けた取組 (G4)

積極的な広報や周知、事業の開催、施設訪問など様々な取組を通して貸出カード登録率向上に努める。

(6) 多言語資料の収集と案内掲示 (G4 G5)

- ① 外国人とのコミュニケーション等に役立つ英語や、諸外国語の会話集等の資料の収集を行う。
- ② 外国人が利用しやすいような多言語表記による館内の案内板や表示板などの充実を図る。

(7) 清潔な館内環境の整備 (G3 G4 G11)

館内換気の徹底、手指消毒液の設置、図書消毒器・予約本受取ボックスの周知を継続する。

<成果指標>

目標名	実績				目標値
	R4	R5	R6	R7(見込)	R8
貸出者数 (単位:人)	156,232	166,099	168,388	161,849	179,000
貸出冊数 (単位:冊)	733,326	775,454	740,375	784,678	872,000

■取組2 ICTを活用した情報提供の推進



(1) インターネット予約サービスの利便性向上 (G4)

インターネットによる図書館資料予約サービス等の普及を促進していくとともに、より利便性の高いシステムとなるよう運用の充実を図る。

(2) メール・レファレンスサービスの普及 (G4)

電子メールによるレファレンスサービスの利用拡大に努める。

(3) オンラインデータベースを活用した情報提供 (G4)

法令情報や官報情報などのオンラインデータベースを活用した情報提供の周知に努め、利用拡大を図る。

(4) 時代に対応した新しい図書館情報システムの活用促進(G4)

令和6年度のシステム更新に伴う新たな機能追加により、利便性が向上したが、更に活用促進を図るため、引き続き、周知・案内を強化する。

・利便性が向上した機能

- ① スマートフォン等での貸出しバーコードの表示により、カードを持参しなくても利用が可能となった。
- ② 利用者がインターネット上で、自分の読書履歴を確認することが可能となった。
- ③ LINEとの連携により、資料の検索や予約が可能となったことに加え、予約本の準備など、図書館からの連絡も容易となった。

(5) 電子書籍サービスによる読書環境の提供 (G4)

インターネットを活用し、市民が図書館に来館しなくても、いつでも・どこでも読書ができる環境を提供する。

<成果指標>

(単位:%)

目標名	実績				目標値
	R4	R5	R6	R7(見込)	R8
インターネット 予約率	79.4	79.7	74.7	83.9	80.0

■取組3 資料の収集・整備・保存とその提供の充実



(1) 蔵書管理と収蔵スペースの有効活用 (G4)

- ① 提供できる資料について、市民ニーズや資料収集方針に基づき、適切な質・量の確保に努めるとともに、限られた収蔵スペースの有効活用を図る。
- ② 保育園、幼稚園などの施設や各種団体、一般利用者に除籍資料を提供し、リサイクルに努める。

(2) 郷土資料の充実 (G4 G11)

- ① 郷土に関する資料等の発行情報の把握に努め、図書、雑誌、パンフレット、チラシ、音声・映像資料等を幅広く収集し提供する。
- ② 前年中に出版された郷土関係の書籍について、「市民の出版物展」として2月下旬～3月中旬にかけて展示する。

(3) 地域課題解決の取組支援 (G4 G11)

- ① 山形市、山形県で発行している行政資料や地図等を収集し提供する。
- ② 起業、資格取得や就労等を支援していくための資料を収集し提供する。
- ③ 子育て、教育、医療、健康、福祉、まちづくり等の市民生活や地域を豊かにするための資料を収集し提供する。

(4) レファレンスサービスの向上と充実 (G4)

- ① レファレンスニーズに対応できる資料の整備や、研修等による専門能力の向上を図り、サービスの向上と充実を図る。
- ② 国立国会図書館レファレンス協同データベース、国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービス及び法令情報や官報情報などのオンラインデータベースを活用し、レファレンスサービスの充実に努める。
- ③ レフェラルサービス(利用者が求めている情報に関して、情報源となる人又は機関、組織を知らせるサービス)の蓄積した情報を整理し、将来のサービスに活用する。

(5) 視聴覚資料の提供 (G4 G11)

児童・青少年健全育成、地域福祉をはじめ、社会教育に役立つ視聴覚資料を、地域で活動する社会教育団体等へ提供する。

■取組4 多様な学習の機会や活動・発表の場の提供



(1) 講座・講演会の開催 (G4 G11)

郷土の歴史や身近な市民のニーズに応える各種講座や、読書週間にあわせた講演会、郷土出身の作家等を招いた講演会を企画、開催する。

(2) 「課題解決に役立つ」実践的なワークショップの開催 (G4 G11)

利用者や地域の課題解決に役立つ実践的ワークショップを開催する。

(3) 幼児・児童向け事業の充実 (G4 G17)

「絵本とあそぼう」、「おはなしの広場」などのおはなし会のほか、紙芝居や人形劇などの多様なイベントにより、幼児・児童が物語等に親しむ機会を提供し、読書活動の推進を図る。

事業実施においては、図書館ボランティアの協力を得ながら、参加しやすい雰囲気づくりに努める。

(4) 多角的なテーマによる企画展示等の開催の実施 (G4 G11)

① 読書への関心を高めるため、読書週間等にあわせて資料を展示する。

② 山形市平和都市宣言事業として戦争と平和への取組に関する資料を展示する。

③ 開催する講座・講演会のテーマに沿った資料を展示する。

(5) 事業実施における図書館ボランティアとの協働 (G4 G17)

上記の各種講座・講演会や事業、展示会等の企画・運営は、図書館ボランティアと協働で行う。

■取組5 学校図書館等との連携と教育活動への支援



(1) 児童・生徒 読書全力応援プランの実施 (G4 G17)

① 児童・生徒の探究型学習支援のため、学校の要望に応じた<テーマ別セット>の貸出しのほか、図書館より遠方の学校に直接本を届けるなど、学校の利便性向上を主眼とした「団体貸出100(イチマルマル)」を実施して、学校との連携強化と読書機会の拡充を図る。

② それぞれの図書委員会で取り組んでいる「学校のおすすめ本」の特集を図書館の児童排架の特集コーナーで紹介することにより、児童・生徒の本への関心を高めるとともに保護者を含めた図書館への来場に繋げる。

③ 小・中学校に出向き、市立図書館利用の説明や、所蔵している本の貸出しを行う「出前図書館」、及び、児童が来館し、館内の見学と貸出し等を体験的に学習する「交流図書館」を実施する。

④ 部活動の地域移行・地域連携を支援する事業として、「りび活 yamagata」を実施して、図書館を活用した交流を通じて、楽しみながら学び、探究心を満たす学びを体験できる内容で実施する。

⑤ 電子書籍サービスと小中学校の児童・生徒に配布されているタブレット端末や電子黒板との連携を図り、充実した学習環境を支援する。

(2) 学校図書館の運営支援 (G4 G17)

① 学校図書館の運営を支援するため、図書整理員研修会を開催する。

② 学校を訪問し、学校図書館の運営の工夫や課題について、学校からの相談に基づき情報交換や助言等の支援をする。

(3) 多様な学びを支える学習機会への支援等 (G4 G17)

① 夏休み自由研究相談会、読書感想文書き方講座を開催するほか、自由研究のテーマ選定や研究

の進め方などに役立つ図書を展示するなど、児童・生徒の探究型学習を支援する。

- ② 学校との共催による学校訪問おはなし会を、図書館ボランティアの協力を得て実施する。
- ③ 高等学校の探究型学習や大学の授業等の多様な学習の支援を行い、高等教育等における多様な学びを支援する。

(4) 職場体験学習等の受け入れ (G4 G17)

- ① 中学校2年生の職場体験学習をはじめ、児童・生徒の職場体験や就業体験を受け入れる。
- ② 小学校のまち探検や社会科見学、中学校の社会科学習等の図書館見学受け入れをとおり、図書館の理解と児童・生徒の利用促進を図る。

(5) 「としょかんKids」の発行と学校との協力 (G4 G17)

児童・生徒の図書館利用を促進するため、本の新聞「としょかんKids」を発行し、学校の協力のもと児童・図書整理員からのお気に入りの本や季節毎のテーマによる児童書の紹介を掲載する。

(6) 幼稚園・保育所等への資料提供と読み聞かせの実施 (G4 G17)

- ① 幼稚園・保育所等へ団体貸出により資料を提供する。(放課後児童クラブを含む)
- ② 園児に図書館利用の楽しさを感じてもらえるよう、図書館見学などを受け入れる。
- ③ 読み聞かせの依頼を受け、図書館ボランティアの協力を得ながら、訪問し開催する。

■取組 6 広報・広聴及び情報発信の充実



(1) 図書館だよりの発行 (G4 G17)

- ① 「図書館だより ベにばな」を発行し、利用案内、催し物の開催、図書館ボランティアの活動状況等の情報提供を行う。
- ② 本の新聞「としょかんKids」を発行し、紹介本を通して児童・生徒の図書館利用を促進する。

(2) 広報やまがた・市公式ホームページを通じた情報提供 (G4 G11)

- ① 「広報やまがた」を活用し、催し物の開催や図書館利用に関する情報提供を行う。
- ② 市公式ホームページやフェイスブックを活用し、利用案内や催し物開催等の情報提供を行う。
- ③ 図書館ホームページで、蔵書案内、新着資料案内、催し物開催等の情報提供を行う。

(3) 本のひろば・出張貸出(出前図書館)による図書館のPR (G4 G11)

- ① 高校生をはじめとする若者層が多く訪れる山形駅東西自由通路や、幅広い世代及び転入者が多く訪れる山形市役所1階に設置している「本のひろば」を継続的に運営することで、市民へのさらなる浸透を図り読書機会を創出していくとともに図書館のPRと利用の拡大を図る。
- ② 市有施設等における出張貸出を行い、図書館のPRと利用の拡大を図る。

(4) 利用者アンケートの実施 (G4 G11 G17)

利用者アンケートを実施し、利用者の属性や図書館利用に関する意向・要望等の把握に努め、その結果を図書館運営に活用する。

■取組 7 市民参加による図書館運営



(1) 図書館ボランティアとの協働 (G4 G17)

図書の整理・修理、読み聞かせ、独自事業の企画などを行う図書館ボランティアと協働し、図書館運営の充実を図るとともに、展示会や講座等開催など活動の場を提供する。また、若手を含むメンバーの育成についても支援する。

(2) 職場体験の受け入れ (G4 G10 G17)

各種団体が実施するインターンシップ、職業体験、就労研修等を受け入れる。

(3) 図書館協議会での意見や要望等の図書館運営への反映 (G4 G16 G17)

図書館協議会における図書館に対する意見や要望等を、図書館運営へ反映させる。

■取組 8 質の高いサービスを支える体制の整備



(1) 専門性の向上(G4)

令和4年度から司書職の会計年度任用職員を2名配置している。全職員の更なる資質向上を図るため、館内研修の実施や、他団体等が開催する研修等へ積極的に参加する。

(2) 分館の充実 (G4 G11)

- ① 資料の貸出・返却、予約資料の受け取りなど、本館と分館間のネットワークの充実を図る。
- ② 各分館のニーズ、利用者層、利用資料の傾向、規模等に応じた蔵書構成を図る。
- ③ 「居心地の良い空間づくり」を目的にリノベーションした中央分館において、中心市街地という立地を活かし、学生やビジネスマン向けの蔵書を充実するとともに、小さなお子様連れのファミリー層向けの事業を行うなど、利用者の利便性を図る。

(3) 本のひろばの運用 (G4)

高校生をはじめとする若者層が多く訪れる山形駅東西自由通路や、幅広い世代及び転入者が多く訪れる山形市役所 1 階に設置している「本のひろば」を継続的に運営することで、市民へのさらなる浸透を図り、読書機会を創出する。

(4) 図書館情報システムの利便性向上 (G4 G11)

利用者にとってより利便性の高い図書館情報システムとなるよう運用の充実を図る。

(5) 長寿命化に向けた安全・安心で魅力ある施設の整備 (G4 G11)

施設の老朽化に伴う計画的な改修を実施し、安全・安心に利用でき、かつ魅力ある施設整備を推進する。

(6) 危機管理体制の整備（G4）

危機管理研修の開催や災害発生を想定した訓練を実施する。

関連資料

SDGs(持続可能な開発目標)と各施策との関連について

SDGsの17のゴール

1	貧困をなくそう	10	人や国の不平等をなくそう
2	飢餓をゼロに	11	住み続けられるまちづくりを
3	すべての人に健康と福祉を	12	つくる責任つかう責任
4	質の高い教育をみんなに	13	気候変動に具体的な対策を
5	ジェンダー平等を実現しよう	14	海の豊かさを守ろう
6	安全な水とトイレを世界中に	15	陸の豊かさを守ろう
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16	平和と公正をすべての人に
8	働きがいも経済成長も	17	パートナーシップで目標を達成しよう
9	産業と技術革新の基盤をつくろう		

取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1 市民の立場に立った図書館サービスの充実			●	●	●					●	●						
2 ICTを活用した情報提供の推進				●													
3 資料の収集・整備・保存とその提供の充実				●							●						
4 多様な学習の機会や活動・発表の場の提供				●							●						●
5 学校図書館等との連携と教育活動への支援				●													●
6 広報・広聴及び情報発信の充実				●							●						●
7 市民参加による図書館運営				●						●						●	●
8 質の高いサービスを支える体制の整備				●							●						

関係法令(抜粋)

図書館法

(図書館協議会)

第14条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

山形市立図書館条例

(協議会)

第7条 法第14条第1項の規定により、図書館に、山形市立図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、委員12人以内をもって組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 図書館に関するボランティア活動を行う者
- (4) 学識経験のある者

4 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

山形市立図書館条例施行規則

(委員長等)

第18条 条例第7条に規定する山形市立図書館協議会(以下「協議会」という。)に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選によって定めるものとし、その任期は、2年とする。

3 委員長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第19条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が招集し、会議の議長となる。

(意見の聴取)

第20条 協議会は、必要に応じ、委員以外の者に会議への出席を求め、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第21条 協議会の庶務は、図書館において処理する。

令和8年度図書館事業（案）（予定を含む）

【一般向け講座・催物】

	開催日	行事	講師・演者等	備考
1	4月	江戸の山形町探検（座学編）	村山民俗学会 安孫子博幸氏	
2	5月	江戸の山形町探検（街歩き編）	村山民俗学会 安孫子博幸氏	
3	6月	プレ・プチ・平和コンサート in 図書館		
4	7～11月	りぶ活 y a m a g a t a		8回前後
5	8月	学校図書館図書整理員研修会		
6	8月	戦争と平和の資料展		
7	8月	平和都市宣言事業関連 「平和の尊さを考える講演会」		
8	1月	新春・本の福袋		
9	2月	市民の出版物展		
10	2～3月	市民の出版物展関連講座		
11	未定	短歌講座		
12	未定	小荷駄のみどり共催市民講座		年2回予定
13	未定	読み聞かせ・朗読に関する講座		
14	随時	出前図書館		

【乳幼児・児童向け講座・催物】

	開催日	行事	講師・演者等	備考 (回数・参加者等)
1	毎週木曜日	絵本とあそぼう (対象：0～2歳)	くまさんの会 おひさま文庫	
2	月1回 (日曜日)	おはなしのひろば (対象：幼児～小学生)	「小荷駄のみどりから・・・」	
3	月1回 (土曜日)	おはなし会 ～耳からきく読書～	ききみみの会	
4	月1回 (日曜日)	べにっこひろばでおはなし会	「小荷駄のみどりから・・・」	
5	月1回 (第2金曜日)	絵本とあそぼう@中央分館 (対象：0～2歳)	中央分館職員	
6	年4回 (春・夏・秋・冬)	絵本とわらべうたのひろば (対象：2～4歳)	海和三枝子氏 梅津登喜子氏 古瀬孝子氏 佐藤美芳氏 保科祐子氏	
7	毎週水曜日 第4土曜日	きくちえつろうさんと 楽しむ おはなし会	菊地悦郎氏	
8	月1回 (日曜日)	図書館の本よみよみ隊	保科祐子氏	
9	7～8月	夏休みの宿題応援企画		読書感想文講座 自由研究講座 など
10	10月	大人もこどもも楽しい紙芝居		
11	12月	キラキラクリスマスコンサート		
12	1月	人形劇サークルとんとんの楽しい人形劇		
13	10月	大人もこどもも楽しい紙芝居		
14	随時	出前・交流図書館		小中学校対象